

P03



IBM eServer™ iSeries™

iHOPE
iSeries Hands-On Professional Education

Domino 6 iSeries版 概説とR5からの移行

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries



特記事項

当資料で解説される項目の更に詳細な説明は、製品から提供されるマニュアル、オンライン・ヘルプ、Web上の情報を参照してください。

当資料は、2003年4月現在のIBMその他の製品情報に基づいて作成されております。この資料に含まれる情報は可能な限り正確を期しておりますが、日本アイ・ビー・エム株式会社による正式なレビューは受けておらず、当資料に記載された内容に関して日本アイ・ビー・エム株式会社および日本アイ・ビー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社が何ら保証をするものではありません。したがって、この情報の利用またはこれらの技法の実施はひとえに使用者の責任においてなされるものであり、当資料の内容によって受けたいかなる被害に関して一切の保証をするものではありませんのでご了承ください。

日本IBMシステムズ・エンジニアリング株式会社
サーバー・システム部 Integrated Server グループ

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries
IBM

商標

- AS/400
- MQSeries
- stylized
- AS/400e
- Operating System/400
- WebSphere
- DB2
- OS/400
- 400
- IBM
- SanFrancisco
- iSeries
- eServer

以下の用語は、アメリカ合衆国、あるいは他国、あるいは両国でのLotus Development社の商標です:

- Domino
- LearningSpace
- QuickPlace
- Domino.Doc
- Lotus
- Sametime

Java とすべてのJavaをベースとする商標およびロゴは、アメリカ合衆国、他国、あるいは両国のサン・マイクロシステムズ社の商標または登録商標です。
 Microsoft Windows, Windows NT, およびWindowsのロゴは、アメリカ合衆国、他国、あるいは両国のマイクロソフト社の商標です。
 他の会社、製品、およびサービス名は、その会社の商標あるいはサービスマークかもしれません。
 このプレゼンテーションに含まれるサードパーティーに関連する題材は、これらのサードパーティーから得られた情報に基づいています。これらの情報の正確さの確認のための、いかなる努力もなされていません。このプレゼンテーションは、いかなるサードパーティー製品またはサービスの、IBMによる推薦あるいは指示を表したり、ほのめかすものではありません。

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world
© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries
IBM

アジェンダ

- 1. Domino 6 iSeries版 概説
- 2. Domino 6 iSeries版の導入と構成
- 3. Domino R5 iSeries版からの移行
- 付録

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world
© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries

IBM

1. Domino 6 iSeries版 概説

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries

IBM

このページは意図的にブランクにしています。

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

Domino 6 iSeries版の概要

■ Domino 6のiSeries版

- ▶ 昨年発表
 - 他のプラットフォームとほぼ同じタイミング
- ▶ 他のプラットフォームと変わらぬ機能
- ▶ 稼動方法はDomino R5と同様
 - ほとんど変わらない
 - これまでの仕組みの継承
- ▶ プロダク HD : 5733LD6



Notes

- Domino 6 iSeries版は、その名の通り iSeries上で稼動するDomino 6です。2002年の4Qに、他のプラットフォームとほぼ同じタイミングで発表されました。
- もちろん、他のプラットフォームと同様の機能を提供しており、ユーザーから見れば、どのプラットフォームで稼動しているのかを意識するようなことはありません。
- その稼動方法は、既存のDomino R5 iSeries版とそれほど大きく変わるどころはなく、Domino R5 iSeries版の運用経験があれば、特に意識することなくDomino 6の運用を行えます。
- なお、Domino 6 iSeries版のプロダク HDは、5733LD6となります。

稼動環境：ハードウェア

■ iSeries - RISCモデル

- ▶ 最低288MBのメモリ
 - 512MB以上が推奨
- ▶ 最低1GBのディスクスペース
 - 1.5GB以上が推奨

■ 推奨：

- ▶ IBM @server Workload Estimator を使用してキャパシティプランニングの実施
 - <http://www.ibm.com/eserver/iseries/support/estimator>

Notes

- ハードウェアの前提条件としては、以下のものになります。
 - ▶ RISCモデルのiSeries(AS/400)であること
 - ▶ 最低288MBのメモリ 推奨は512MB
 - ▶ 最低1GBのディスクスペース 推奨は1.5GB
- これらの値は、あくまでもDominoのプログラムを稼動させるだけのものです。Domino以外の業務を同一iSeries上で稼動させるのであれば、またそれらは別途見積もる必要があります。
- また、Dominoに関しても、これらの条件ではただ単にサーバーが稼動するだけであり、それをユーザーが使用するのに生じる資源も別途見積もる必要があります。大まかな見積もりとして、以下のものが挙げられます。
 - ▶ 同時アクティブメールユーザー1人あたり0.5～1MBのメモリ
 - ▶ 登録メールユーザーあたり75MBのディスクスペース
- これらはあくまでもおおまかな見積もりです。
- 確実なキャパシティプランニングのためにも、IBM @server Workload Estimatorを使用して、適正なSeriesモデルと必要な資源の見積もりを行ってください。
 - ▶ <http://www.ibm.com/eserver/iseries/support/estimator>

稼動環境：ソフトウェア

- OS/400 V5R1 (5722-SS1)以降
 - ▶ 最新の累積PTFとDomino用のPTFの適用を推奨
 - <http://www.ibm.com/servers/eserver/series/domino/support>
- OS/400ホストサーバー(5722-SS1 option 12)
- OS/400 Qshell インタ-プリター (5722-SS1 option 30)
- TCP/IP Connectivity Utilities for iSeries (5722-TC1)
- IBM Developer Kit for Java (5722-JV1)
 - ▶ Option 5 - 1.3 JDK

Notes

- ソフトウェアの前提条件としては、以下のものになります。
 - ▶ OS/400 V5R1 (5722-SS1)以降
 - ▶ OS/400ホストサーバー(5722-SS1 option 12)
 - ▶ OS/400 Qshell インタ-プリター (5722-SS1 option 30)
 - ▶ TCP/IP Connectivity Utilities for iSeries (5722-TC1)
 - ▶ IBM Developer Kit for Java (5722-JV1)
 - Option 5 - 1.3 JDK

Domino とOS/400のサポート関係

	OS/400 V4R5	OS/400 V5R1	OS/400 V5R2
Domino 5.0		x	x
Domino 5.0.1		x	x
Domino 5.0.2		x	x
Domino 5.0.3		x	x
Domino 5.0.4		x	x
Domino 5.0.5		(5.0.5.02)	x
Domino 5.0.6a		(5.0.6a.01)	x
Domino 5.0.7			x
Domino 5.0.8			
Domino 5.0.9			
Domino 5.0.9a			
Domino 5.0.10			
Domino 5.0.11			
Domino 6	x		

:OS/400 V5R2はDomino R5.0.8をサポートしますが、iSeries モデル890の場合は、Domino R5.0.9以降が必要

Notes

- この図は、Domino R5 iSeries版を含めた、OS/400のバージョン・リリースと、Dominoのリリースにおけるサポート関係を表しています。
- Domino 4.6.7 iSeries版は、稼動するOS/400の最終サポートリリースがV4R4となっているため、すでにサポートされておられません。

主な変更点：導入方法

- LODRUNコマンドは引き続き使用可能
 - ▶ 5769-LNT (Domino R5)の自動削除
 - ▶ Domino 6 はQNOTESライブラリと同じIFS構造を使用
 - ▶ ソフトウェアライセンスキーはなし
- Installshieldが使用可能
 - ▶ 全てのDomino プラットフォームで共通のGUIセットアップインターフェイス
 - 必要に応じてプラットフォーム独自の機能が含まれる
 - ▶ iSeries版 Domino R5のEZセットアップウィザードがベース
 - ▶ 以下から呼び出し
 - オペレーション ナビゲーター (V5R1), iSeries ナビゲーター (V5R2)
 - EZ Setup
 - Domino インストール ウィザード

Notes

- ここではDomino 6 iSeries版の導入方法について解説します。
- 導入方法は大きく分けて、5250画面 インターフェイスを使用する方法と、グラフィカルなインターフェイス(GUI)を使用する方法に分けられます。
- 5250のインターフェイスを使用する方法としては、LODRUNコマンドが引き続き使用可能です。そのパラメーターについてアップデートがなされています。
- GUIのインターフェイスを使用する方法としては、InstallShieldを使用します。これは、PC上で実行されるプログラムで、iSeriesに接続して導入を実施します。このInstallShieldは、他のプラットフォームと共通のインターフェイスとなります。
- Domino R5(5769-LNT)を使用しているユーザーがDomino 6にアップグレードする場合、あらかじめDomino R5を削除する必要はありません。Domino 6の導入時に、Domino R5を自動削除します。
- 導入方法の詳細については、後続の章で解説いたします。

主な変更点：導入オプション

■ 削除:

- ▶ シングル・ログオン(opt1)
 - ダウンロードにより対応
- ▶ 登録簿の同期(opt1)
 - サポートなし
- ▶ C++ API and toolkit(opt4)
 - ダウンロードにより対応
- ▶ LSX toolkit(opt5)
 - ダウンロードにより対応
- ▶ HiTest C API(opt6)
 - サポートなし

■ 移動:

- ▶ オペレーション・ナビゲーター・プラグイン(opt1)
 - *BASE
- ▶ アドバンスド サービス(opt7)
 - *BASE
 - ライセンス契約により管理

■ 変更:

- ▶ C API(opt3)
 - opt1

Notes

- ここでは、Domino 6の導入時に選択するオプションのうち、Domino R5と比較して、削除 移動 変更されたものについて紹介しています。
- Domino R5 iSeries版では、*BASEに加えて7つのオプションがありましたが、Domino 6 iSeries版ではオプションはC APIの1つだけに集約されています。
- 削除されている機能が多いので、既存のDomino R5これらの機能を使用している場合には、移行時に検討が必要となります。
- ここで"ダウンロードにより対応"となっているものについては、Lotus Developer DomainのWebサイトからダウンロード可能です。
 - ▶ <http://www.lotus.com/ldd>

主な変更点：NLS関連

■ Language Packによる日本語化

- ▶ まず英語版を導入
- ▶ その後に他言語版のLanguage Packを導入
 - 他言語版のテンプレートなどが導入される
- ▶ CLコマンドのインターフェイスは翻訳されず
 - WRKDOMSVRコマンドなど

Language Pack
日本語版 (2962)

Domino 6 英語版(2924)

OS/400

■ ロケール

- ▶ Dominoに同梱されない
- ▶ OS/400の持つロケールを使用
 - 日本語では、/QSYS.LIB/JA_5035.LOCALE

Notes

- Domino 6 iSeries版では、NLS関連において、Domino R5 iSeries版と比較して大きな違いがあります。
- まず、Domino 6 iSeries版には英語版しか存在しません。その英語版を導入した後に、英語以外の言語を使用可能にするLanguage Packというものを導入します。このLanguage Packには、その言語版のテンプレートなどが含まれています。これで英語以外の言語で使用できるようになりますが、WRKDOMSVRコマンドなどの5250のインターフェイスでは、英語以外の言語は提供されません。
- また、Domino R5では、iSeriesに導入することで同時に導入されていたロケールが、Domino 6では提供されなくなりました。代わりに、OS/400の持つロケールを使用するようになりました。

主な変更点：構成方法

- Javaベースのサーバー構成ウィザード
 - ▶ PCから遠隔でGUIインターフェイスで実行
 - ▶ Webベースのセットアップウィザード(*HTTPSETUP)を置き換え
 - ▶ Domino R5 EZセットアップウィザードを置き換え
- CFGDOMSVRコマンドは引き続き使用可能
 - ▶ パラメータに拡張

Notes

- Dominoサーバーの構成方法についてもいくつかの変更が行われています。
- 構成方法としては、5250インターフェイスを使用する方法と、グラフィカルなインターフェイスを使用する方法があります。
- 5250インターフェイスを使用するのであれば、CFGDOMSVRコマンドを実施することになります。パラメーターについてはいくつかの拡張が行われているものの、基本的にDomino R5 iSeries版の時と大きな違いはなく、Domino R5 iSeries版での構成経験があれば特に戸惑うようなことはありません。
- グラフィカルなインターフェイスでは、Dominoサーバーセットアップウィザードが提供されています。これは、PC上で実行するJavaベースのプログラムで、PCからiSeriesにアクセスして構成を実施します。グラフィカルなインターフェイスなので、他のプラットフォームからiSeries版に移行するユーザーには入りやすい方法とすることができます。



主な変更点：削除された機能

- Anymail統合
- IBM HTTP Server(オリジナル版)のサポート
 - ▶ IBM HTTP Server(powered by Apache)がサポートされる
- 登録簿の同期
- Domino CLコマンドの翻訳
 - ▶ 5250インターフェイス
 - ▶ オペレーションナビゲーター(iSeriesナビゲーター)では対応



Notes

- Domino 6 iSeries版ではもはやサポートされない iSeries版独自の機能として、以下のものがあります。
 - ▶ Anymail統合
 - Dominoサーバーがインターネットメールとのやり取りをする場合に、DominoサーバーのSMTPサーバーではなく OS/400のSMTPサーバーを使用するための機能です
 - Domino 6では、DominoのSMTPサーバーを使用するようにしてください
 - ▶ IBM HTTP Server(オリジナル)のサポート
 - DominoをHTTPサーバーとして使用する場合、DominoのHTTPサーバー機能を使用する他に、OS/400のHTTPサーバーであるIBM HTTP Server(オリジナル版)を使用することも可能でした
 - Domino 6では、IBM HTTP Server(Apache版)が新たなHTTPサーバーの選択肢となります
 - ▶ 登録簿の同期
 - Dominoディレクトリと OS/400の登録簿との同期を取る機能がサポートされなくなります
 - ▶ Domino CLコマンドの翻訳
 - WRKDOMSVR コマンドを始めとするDomino関連のCLコマンドの画面は全て英語となります
 - ただし、iSeriesナビゲーターのプラグインに関しては、各国語版への翻訳がなされています

HTTPサービスの選択

Domino 6 HTTP

- 改善/書き直し
 - HTTP 1.1, WebDAV, DSAPI, パフォーマンス セキュリティ ログ
 - 仮想ホスト、仮想サーバーを用いたxSPホスティング
- 簡易な実装方法
- WebSphere Application Serverにより使用可能

IBM HTTP Server powered by Apache

- WebSphere Application ServerかTomcatにより使用可能
- OS/400 V5R2
 - OS/400 V5R1はPTF必要
- SSL/Crypto card, hotswap backup
- OS/400のClusteringを利用したHigh Availability
- Dominoにフェイルオーバーとロードバランスを提供
- Dominoと別のシステムにて稼動可能

Notes

- この図では、Domino 6におけるHTTPサーバーの選択肢である、DominoのHTTPサーバーと、IBM HTTP Server(powered by Apache)の比較を行っています。
- DominoのHTTPサーバーも、R5に対してパフォーマンス改善と機能の追加がなされています。また、いずれのサーバーも、WebSphere Application Serverから利用することが可能です。

関連製品・機能サポート情報

- LEI
 - ▶ LEI3.xはDomino 6 では稼動しない
 - ▶ LEI 6.0.1 iSeries版がDomino 6.0.1 iSeries版で稼動
 - LEI 6 はDomino R5では稼動しない
- DECS
 - ▶ DECSはDomino 6でも提供される
 - 機能は同じ
- iNotes
 - ▶ Domino 6でも使用可能
 - R5と同じテンプレートと、R6テンプレートが提供される
 - ▶ R6テンプレートの新機能については後続リリースにて提供予定

Notes

- ここでは、Dominoの関連製品・機能における、Domino 6上での稼動関連の情報を紹介します。
- 既存のLEI3.xは、Domino 6上では稼動しません。新たにLEI 6がリリースされ、これがDomino 6上で稼動することになります。現在、LEI 6.0.1 iSeries版が、Domino 6.0.1 iSeries版上で稼動します。
- DECSは、Domino 6でも提供されており、特に機能の変更などはありません。テンプレートが新しくなっていますので、R5からの移行を行う場合には、移行後に設計の更新を行います。
- iNotesは、Domino 6でも使用可能です。R5の時と同じテンプレートと、Domino 6用のテンプレートが提供されます。ただし、Domino 6用のテンプレートでも特に新しい機能は提供されておらず、それは後続のリリースにて提供される予定です。

関連製品・機能サポート情報 - 続き

■ Sametime

- ▶ Sametime 3a iSeries版 がDomino 6.0.1 iSeries版上で稼動

■ QuickPlace

- ▶ 現在、Domino 6でのサポートはなし

Notes

- Sametime については、Sametime 3a iSeries版が、Domino 6.0.1 iSeries版上で稼動します。
- QuickPlace3.0については、現時点でDomino 6上では稼動しません。

IBM eServer iSeries | IBM

2. Domino 6 iSeries版の導入と構成

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world | © 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries | IBM

2-1. 導入 構成前に

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world | © 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

導入・構成前に

- H/W, S/Wの前提を満たしているかの確認
 - ▶ H/Wはキャパシティ要件を満たしているものか
 - ▶ システム値QCCSIDは5035が原則 (日本語環境)
- 最新PTF情報の確認
 - ▶ 以下のサイトを参照
 - <http://www-1.ibm.com/servers/eserver/series/domino/support/ptf.htm>
 - http://www-912.ibm.com/s_dir/slkbasesf/recommendedfixes
 - トピックで"Domino"を選択
- この章の情報について
 - ▶ 新規導入を前提
 - R5からのアップグレードについては、後続の章を参照

Notes

- Domino 6 iSeries版の導入 構成を行う前には、以下の情報について再確認しておく必要があります。
- まず、H/W, S/Wの要件を満たしているのかを確認する必要があります。H/Wについては、IBM Workload Estimatorでキャパシティ・プランニングを実施して、適正なモデルが選択されているかを確認してください。
- そして、言語関連としては、日本語環境においては、iSeriesのシステム値QCCSIDが5035の場合でのみLotusでは稼働確認を行っています。原則この値に設定するようにしてください。
- また、最新のPTF情報を確認してください。OS/400に適用するものや、Dominoに対して適用するものがある可能性があります。
- ここでこの後に解説するDomino 6 iSeries版の導入 構成のプロセスは、何も導入されていないiSeriesに新規にDomino 6 iSeries版を導入 構成することを前提にしたものです。
- 既存でDomino R5 iSeries版を使用していて、それをDomino 6にアップグレードする場合のプロセスについては、5章を参照してください。

導入・構成のプロセスについて

■ 導入から構成までのプロセス

- ▶ Dominoプログラム導入
 - 5250, GUIインターフェイス
- ▶ Dominoサーバー構成
 - 5250, GUIインターフェイス
- ▶ ロケールの変更 **New**
- ▶ Language Packの適用 **New**
 - 5250, GUIインターフェイス



Notes

- ここでは、Domino 6 iSeries版を導入、構成する際のプロセスの概略について紹介しています。
 - ▶ Dominoプログラム導入
 - ▶ Dominoサーバー構成
 - ▶ ロケールの変更
 - ▶ Language Packの適用
- ロケールの変更を除いて、それぞれの作業においては、5250のインターフェイスとグラフィカルなインターフェイスとの両方が提供されています。また、ロケールの変更とLanguage Packの適用については、Domino 6 iSeries版から新たに必要となったプロセスです。
- Domino 6 iSeries版を稼働させるまでに必要なこれらのプロセスそれぞれについてここから解説していきます。

IBM eServer iSeries | IBM

2-2. 導入方法

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world | © 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries | IBM

このページは意図的にブランクにしています。

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world | © 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

導入方法の種類

■ 導入方法の選択肢

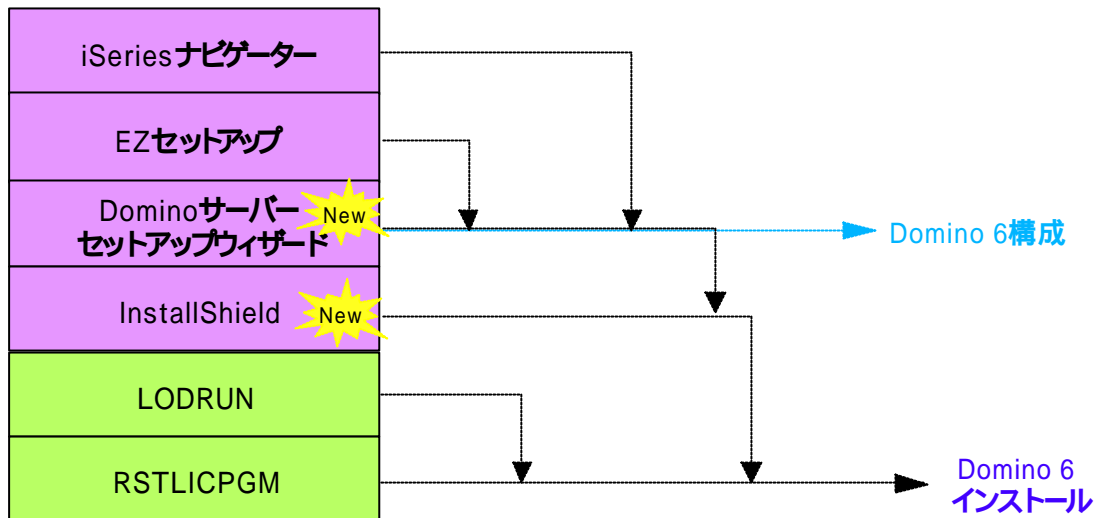
- ▶ RSTLICPGM
- ▶ LODRUN
- ▶ Dominoサーバーセットアップウィザード
- ▶ EZセットアップ
- ▶ iSeriesナビゲーター
- ▶ InstallShield

■ バックグラウンドでは、RSTLICPGMコマンドが実行される

Notes

- RSTLICPGMコマンドは、Domino 6 iSeries版の導入のインターフェースとして残っています。しかし、インストール時に選択可能なプロダクトオプション数は2つ（*BASEとオプション1）に減少しました。
- LODRUNコマンドもまたインストールインターフェースとして残っています。これについても、インストール時に選択可能なプロダクトオプション数は2つ（*BASEとオプション1）に減少しました。
- Dominoサーバーセットアップウィザードは、Webベースの*HTTPSETUPに代わる新しい機能です。このウィザードは、コードのインストールとDominoサーバーの構成が一体化している利点があります。こちらのウィザードについては、構成の部分で詳しく解説します。
- EZセットアップはOS/400 V5R1以来改良され、Domino 6とOS/400 V5R2の両方の拡張機能を反映します。
- また、iSeriesナビゲーターにDominoサーバー管理のプラグインを導入することで、iSeriesナビゲーターからも導入作業を起動することが可能です。
- Domino 6はInstallShieldサポートの導入を可能としました。インストールシールドはRSTLICPGMコマンドの代わりとして、Dominoのインクリメンタルバージョンのインストールに使用されます。

導入方法の選択肢チャート



Notes

- このチャートは、iSeries版Domino 6のインストール選択肢をまとめたものです。
- 方法としては大きく分けて、5250インターフェイスを使用する方法と、グラフィカルなインターフェイスを使用する方法があり、それぞれ代表的なものとしてLODRUNコマンドとInstallShieldがあります。
- LODRUNコマンドはDomino R5 iSeries版からおなじみの方法です。実行後、バックグラウンドでRSTLICPGMコマンドが実施されることとなります。
- InstallShieldは、PC上で実行される導入用のプログラムで、そこからiSeriesに接続することでDominoのプログラムをiSeriesに導入します。
- iSeriesナビゲーターやEZセットアップからDominoサーバーの構成を実施する場合、Dominoサーバーセットアップウィザード(後述)が起動されます。もちろん、Dominoサーバーセットアップウィザードを直接起動することも可能です。この場合、対象のiSeriesにDominoのプログラムが導入されていない場合には、InstallShieldが起動されてDominoのプログラム導入が開始されることとなります。
- DominoサーバーセットアップウィザードはiSeries版Domino 6プログラムのインストール、Dominoサーバーの構成を行うことが可能です。
- いずれの方法を取った場合にも、最終的には(バックエンドで)RSTLICPGMコマンドが実行されて導入が実施されることとなります。


構成方法の種類

■ 構成方法の選択肢

- ▶ Dominoサーバーセットアップウィザード
 - グラフィカルインターフェース
 - DOMWZD.EXE
- ▶ EZセットアップ
 - Dominoセットアップインストールウィザードによる構成
- ▶ iSeriesナビゲーター
 - Dominoセットアップインストールウィザードによる構成
- ▶ CFGDOMSVRコマンド
 - 5250エミュレーターから構成

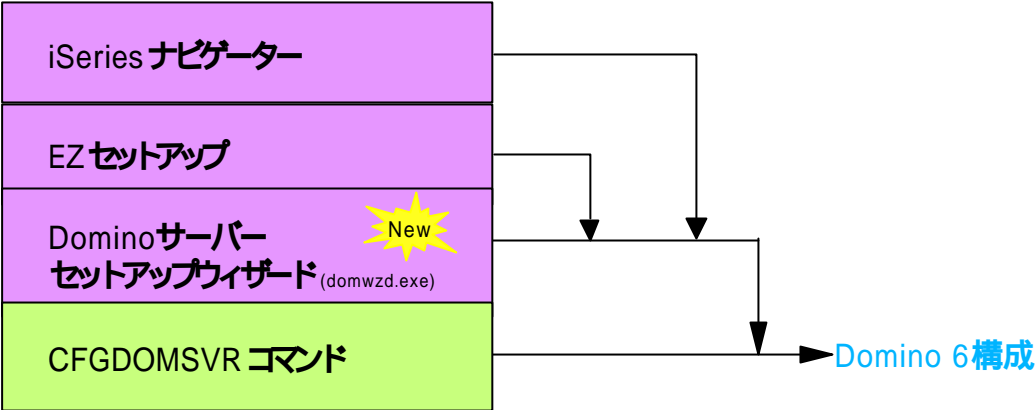
Notes

- Dominoサーバーを構成する方法としては、以下のものがあります。
- Dominoサーバーセットアップウィザードは、iSeriesに接続可能なPC上で実行されるプログラムで、グラフィカルなインターフェイスでのDominoサーバー構成を実施可能にします。
- EZセットアップは、iSeriesナビゲーターは、それぞれでDominoサーバーの構成を実施した場合、Dominoサーバーセットアップウィザードを起動します。
- CFGDOMSVR コマンドは、Domino R5 iSeries版の時と同様に使用することができます。こちらは5250のインターフェイスで実行することになります。




IBM eServer iSeries

構成時の選択肢チャート



The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.



IBM eServer iSeries

Notes

- このチャートは、Dominoサーバーの構成方法の選択肢をまとめたものです。
-
- 大きく分けて、グラフィカルなインターフェイスで実施するDominoサーバーセットアップウィザードと、5250インターフェイスで実施するCFGCOMSVR コマンドに分けられます。
- iSeriesナビゲーター、EZセットアップを使用する方法は、前述した通り、Dominoサーバーセットアップウィザードを起動することになります。
- Dominoサーバーセットアップウィザードを使用した場合にも、iSeries上ではCFGDOMSVR コマンドが実施されることになります。

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries | IBM

2-3. Language Packの適用

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world | © 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries | IBM

このページは意図的にブランクにしています。

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world | © 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

ロケールの変更

■ ユーザープロファイルQNOTESのロケールを変更

- ▶ Domino 6では、Dominoと一緒にロケールは導入されない
 - OS/400のものを使用
- ▶ 以下のコマンドを実行
 - CHGUSRPRF USRPRF(QNOTES)

```
LOCALE('/QSYS.LIB/JA_5035.LOCALE') SETOBJATR(*CCSID
 *DATFMT *DATSEP *DECfmt *SRTSEC *TIMSEP)
```

■ Language Pack導入の前に実行

オブジェクトの処理

オプションを入力して、実行キーを押してください。

2= 権限の編集 3= コピー 4= 削除 5= 権限の表示 7= 名前の変更
8= 記述の表示 13= 記述の変更

OPT	オブジェクト	タイプ	ライブラリ	属性	テキスト
	JA_13488	*LOCALE	QSYS		CCSID 13488
	JA_5035	*LOCALE	QSYS		CCSID 5035
	KO_KR	*LOCALE	QSYS		CCSID 933
	LT_LT	*LOCALE	QSYS		CCSID 1112

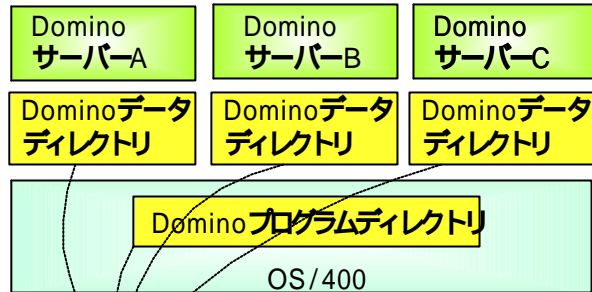
Notes

- 前述したように、Domino 6 iSeries版では、ロケールが提供されません。
- 上記のようにCLコマンドを実施し、ユーザープロファイルQNOTESが使用するロケールを指定します。
- この設定を行うまでは、ユーザープロファイルQNOTESのロケールは、英語環境のものになっています。
- この作業は、後続のLanguage Packの適用の前に実施する必要があります。

Language Packの適用

■ 導入されるもの

- ▶ 導入言語のオブジェクト
 - テンプレート
 - プログラム関連ファイル
 - Java, C
 - Web関連ファイル
 - HTMLなど



オブジェクト置き換え対象

■ 置き換えを行う場所

- ▶ プログラムディレクトリ
 - /QIBM/ProdData/lotus/notes
- ▶ データディレクトリ
 - 各Dominoサーバーのもの

Notes

- Domino 6 iSeries版から新たに適用が必要になったLanguage Packですが、その適用によって導入されるものは以下のものになります。
 - ▶ システム提供のテンプレート(一部)
 - ▶ Java, Cのプログラム関連ファイル
 - ▶ HTMLなどのWeb関連ファイル
- これらのオブジェクトは、Dominoサーバー固有のデータディレクトリと、同一iSeries上のDominoサーバーで共有するプログラムディレクトリの両方に分かれて存在し、Language Pack適用によって置き換えられることになります。

Language Pack適用のタイミング

■ 導入のタイミング

- ▶ サーバーの構成後
 - サーバー構成前に実施してもデータディレクトリが存在しません
 - この仕組みはDomino 6.0のみ
 - Domino 6.0.1で変更予定
- ▶ サーバーの起動前
 - サーバーの最初の起動の前に実施します
 - 起動してしまっても後から再設計や設計の置き換えを実施可能
 - R5からの移行時には必須
 - Language Pack適用前にサーバー起動をしない



Notes

- Language Pack適用のタイミングについては注意が必要です。
- 前述したように、オブジェクトの置き換えは、Dominoサーバーのデータディレクトリに対しても行われます。そのため、Dominoサーバー構成前に適用を行っても効果がありません。サーバーの構成後に実施してください。
- また、サーバー構成後にLanguage Packを適用し、さらにそのiSeries上で新規にサーバーを構成した場合には、再度Language Packの適用が必要となります。
- この仕組みについては、Domino 6.0.1にて変更の予定です。
- また、Language Pack適用は、サーバーの最初の起動前に実施する必要があります。仮にLanguage Pack適用前に起動してしまったとしても、サーバーを停止してLanguage Pack適用後に再設計や設計の置き換えを実施することで、対応が可能です。Domino R5 iSeries版からの移行時には、エラーが出る可能性がありますので、必ずLanguage Pack適用をサーバーの最初の起動前に実施してください。
- Language Packにも、リリースがあります。Dominoサーバーのリリースと、Language Packのリリースは同じものにする必要があります。(例、Domino 6.0.1には、Language Pack 6.0.1)

Language Packの適用方法

- 導入方法の選択肢
 - ▶ LODRUNコマンド
 - 5250インターフェイス
 - ▶ Language Pack Installer
 - PCから実行
 - GUIインターフェイス
 - OS/400 V5R2ではサポートされない
- "Language Pack"のCD-ROMから実施
 - ▶ Domino 6 iSeries版 English Versionとは別媒体

Notes

- Language Packを適用するには、5250インターフェイスでLODRUNコマンドを実施する方法と、グラフィカルなインターフェイスでLanguage Pack Installerを実施する方法があります。
- Language Packの媒体は、Domino 6 iSeries版 English Versionとは別の媒体になります。



LODRUNコマンドによるLanguage Pack適用 - 1

- Domino 6 プログラム 導入と同様
 - ▶ CD-ROMをiSeriesに装填
 - ▶ LODRUN DEV(*OPT) DIR('/OS400') を実行
- 導入画面が表示される
 - ▶ Javaシェル画面
 - ▶ 全て英語
- 応答方法
 - ▶ 選択メニューの文字を入力し実行
 - ▶ 確認画面で再実行
- License Agreementへの応答

JAVA シェル画面

The Lotus Domino Language Pack Installer adds, replaces, and removes language packs from the Domino server. Language packs include resource files and translated templates.

When you replace existing language packs, the Lotus Domino Language Pack Installer copies all

ata
plates. If
ized
copy those
nino data

JAVA シェル画面

```
3. Charges and Taxes
IBM defines use for the Program for charging
purposes and specifies it in the Proof of
Page [U]p, Page [D]own, or Document [E]nd
[D]:
> e
```

```
[ ] 1 - I accept licence terms
[ ] 2 - I do not accept licence terms
```

To select a choice enter its number, or 0
when you are finished [0]:

```
====> 1
```



Notes

- LODRUNコマンドでLanguage Packを適用する方法を解説します。
- Dominoプログラムの導入時と同様に、LODRUNコマンドを実施します。

LODRUNコマンドによるLanguage Pack適用 - 2

■ 適用方法の選択

▶ 3つの適用方法

— ADD

- 一部のオブジェクトのみ言語を追加

— REPLACE

- 全ての対象オブジェクトの置き換え

— REMOVE

- 既存のLanguage Packの削除

▶ 日本語環境をプライマリにするならば "REPLACE" を選択

— R5からの移行時には必須

Select the installation method for this install

- 1 - Add language packs to the server.
- 2 - Replace existing language packs.
- 3 - Remove language packs from the server

To select a choice enter its number, or 0 when you are finished [0]:

====> 2

Notes

- 適用方法として、3つの方法があります。これらの方法は、Domino 6から新機能として加わった、マルチランゲージのテンプレートと関連があります。
 - ▶ ADDでは、一部のテンプレートに対して、Language Packで適用される言語をセカンダリとして追加します。セカンダリ言語は複数追加可能です。
 - ▶ REPLACEでは、対象とするテンプレート全てに対して、プライマリの言語を入れ替えます
 - ▶ REMOVEでは、セカンダリの言語として追加されている物を削除します
- 日本語環境のR5からの移行時には、必ずREPLACEで日本語環境への置き換えを行ってください。

ファイル名	テンプレート名	REPLACE	ADD
pubnames.ntf	Domino Directory		
mail6ex.ntf	Extended Mail (N/D 6)		
discsw6.ntf	Discussion - Notes and Web (6.0)		
teamrm6.ntf	Team Room (6.0)		
pernames.ntf	Personal Address Book		
bookmark.ntf	Bookmarks (N/D 6)		
mail6.ntf	Mail (N/D 6)		
doclbw6.ntf	Doc Library - Notes and Web (N/D 6)		
journal6.ntf	Personal Journal (N/D 6)		
resrc60.ntf	Resource Reservations (6.0)		
headline.ntf	Subscription (N/D 6)		
dircat5.ntf	Directory Catalog		
dolres.ntf	DOLS Resource Template		
inotes5.ntf	iNotes Web Access (R5)		
inotes60.ntf	iNotes Web Access (6.0)		

LODRUNコマンドによるLanguage Pack適用 - 3

- オブジェクト置き換え先の検出
 - ▶ プログラムディレクトリ
 - ▶ データディレクトリ
- 現行Dominoのバージョンの検出
- REPLACEする言語の選択
 - ▶ Japaneseを選択

```
Domino server program directory
: /QIBM/PRODDATA/LOTUS/NOTES
```

```
Domino server data directories
: /DOMINO6I
```

```
[B]ack, [N]ext, [C]ancel or [M]odify [N]:
```

```
Language Pack has successfully checked Domino
Information.
```

```
Confirmed Domino Version is Release 6.0
September 26, 2002 (6.0.0)
```

```
[B]ack, [N]ext or [C]ancel [N]:
```

```
The following language packs are available.
Select the language pack you want to use to
replace.
```

```
[ ] 1 - English
[ ] 2 - Japanese
```

```
To select a choice enter its number, or 0
when you are finished [0]:
```

```
====> 2
```

Notes

- Language Packの適用プロセスの続きです。
- Installerは自動的に既存のプログラムディレクトリと、データディレクトリを検出します。複数のDominoサーバーが構成済みであれば、複数のデータディレクトリが検出されます。
- さらに、現行のDominoサーバーのリリースが検出され、置き換えを行う言語の選択を行います。

IBM eServer iSeries | IBM

LODRUNコマンドによるLanguage Pack適用 - 4

- Language Pack適用内容の確認
 - ▶ 設定通りであれば先へ
 - ▶ 適用が開始される
- 適用終了のメッセージ

Next to begin installing selected language pack to the server.
Install Type : Replace existing language packs.

Domino server program directory :
/QIBM/PRODDATA/LOTUS/NOTES
Domino server data directories :
/DOMINO6I
Install Language(s) : Japanese

[B]ack, [N]ext or [C]ancel [N]:
====> N

The Lotus Domino Language Pack has successfully installed the selected language Packs.
[F]inish [F]:
====> F

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries | IBM

Notes

- Language Packの適用プロセスの続きです。
- これまでの設定内容の確認画面が表示された後、適用が開始され、終了後に適用終了のメッセージが表示されます。

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

Language Pack Installerによる Language Pack適用 - 1

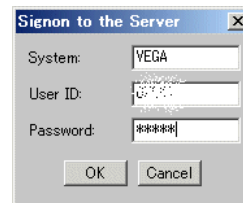
■ 準備

- ▶ PCのCD-ROMドライブからの導入
 - ファイル共有は不可
- ▶ 使用するPCのhostsファイルにインストール先のiSeriesを登録

■ Language Pack CD-ROM上のプログラムを実行

- ▶ W32DomLP60_iSeries.EXE

■ iSeriesへのサインオン



ここでは iSeriesに接続可能なPC上でLanguage Pack Installerを実行し、Language Packを適用するプロセスを解説します。

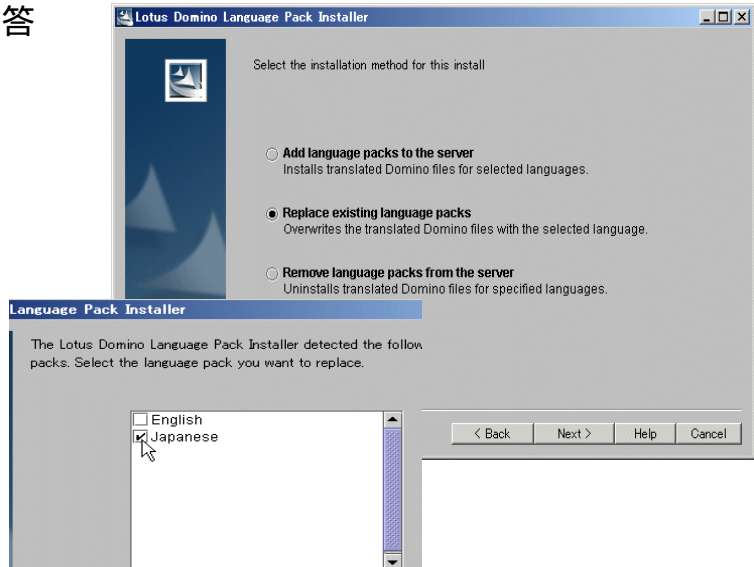
まず、準備として、必ずPCのローカルのCD-ROMドライブからの導入すること、使用するPCのhostsファイルにインストール先のiSeriesを登録することがあります。

Installerは、Language Pack CD-ROM上のW32DomLP60_iSeries.EXEを実行することで開始されます。
最初に、iSeriesへのサインオンのためのウィンドウが現れますので、システム名、ユーザープロファイル、パスワードを入力します。

Language Pack InstallerによるLanguage Pack適用 - 2

■ 設定内容は5250インターフェイスと同じ

- ▶ License Agreementへの応答
- ▶ 適用方法の選択
 - REPLACEを選択
- ▶ インストール先の選択
 - プログラムディレクトリ
 - データディレクトリ
- ▶ 置き換え先言語の選択
 - Japanese



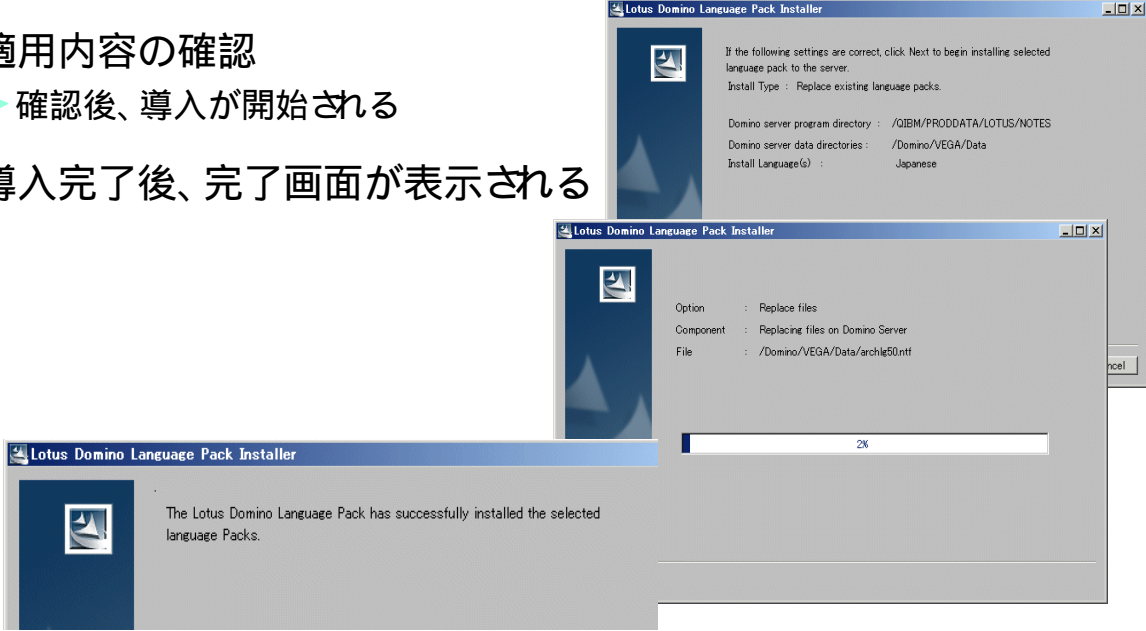
Notes

- その後のプロセスについては、LODRUNコマンドで実施する方法と同じです。
 - ▶ License Agreementへの応答
 - ▶ 適用方法の選択
 - REPLACEを選択します
 - ▶ インストール先の選択
 - プログラムディレクトリ
 - データディレクトリ
 - ▶ 置き換え先言語の選択
 - Japanese の選択

IBM eServer iSeries IBM

Language Pack InstallerによるLanguage Pack適用 - 3

- 適用内容の確認
 - ▶ 確認後、導入が開始される
- 導入完了後、完了画面が表示される



The next generation iSeries...simplicity in an on demand world © 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries IBM

Notes

- 設定内容の確認画面が表れ、その後導入が開始されます。

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world © 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

Language Pack 適用後の確認

■ Language Pack導入後の確認

▶ DSPSFWRSCコマンド

– 5733LD6 機能2962のエントリを確認

ソフトウェア資源の表示


システム :

資源	オプション	機能	記述
D			
5722XW1	*BASE	2962	CLIENT ACCESS/400 WINDOWS FAMILY BASE
5722XW1	1	5101	CLIENT ACCESS/400 WINDOWS FAMILY BASE OPTION 1
5733A19	*BASE	5050	5733-A19 IBM TOOLBOX FOR AS/400 VERSION 4
5733LD6	*BASE	5050	Lotus Domino 6 for iSeries
5733LD6	*BASE	2924	Lotus Domino 6 for iSeries
5733LD6	*BASE	2962	Lotus Domino 6 for iSeries
5733LD6	1	5050	C API Release 6

Notes

- 5250インターフェイスで実施した場合でも、グラフィカルなインターフェイスで実施した場合でも、適用されているかの確認作業は同じです。
- 5250インターフェイスで、DSPSFWRSCコマンドを実施します。
- 5733LD6 オプション*BASE 機能2962のエントリが新たに追加されていることを確認します。

IBM eServer iSeries




3. Domino R5 iSeries版からの移行

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries



このページは意図的にブランクにしています。

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

Domino 6 iSeries版へのアップグレード情報収集

■ アップグレードのための情報収集

▶ アップグレード情報の収集

— 他プラットフォーム共通情報

- 『Lotus Domino Administrator 6 ヘルプ』に含まれるマニュアル『アップグレードガイド』(HELP6_ADMIN.NSF)
- 『Notes/Domino 6 リリース情報』(README.NSF)

— iSeries固有情報

- Domino 6 iSeries インストールガイド(400HELP.NSF)

▶ アプリケーションに関する情報

— Notes/Domino Application Code Checker」の利用

Notes

- Domino 6 iSeries版をR6にアップグレードするためには、Notesヘルプデータベースなどを使用して、情報収集を行います。

▶ 他プラットフォーム共通情報

- 『Lotus Domino Administrator 6 ヘルプ』に含まれるマニュアル『アップグレードガイド』(HELP6_ADMIN.NSF)
- 『Notes/Domino 6 リリース情報』(README.NSF)

▶ iSeries固有情報

- Domino 6 iSeries インストールガイド(400HELP.NSF)

▶ アプリケーションに関する情報

- Notes/Domino Application Code Checker」の利用

- 移行の対象となるノーツデータベースの設計情報を自動的にチェックし、アプリケーション移行の際に問題が発生する可能性のある個所を洗い出しするツールです。
- Notes/Domino Application Code Checker」サービスのお申込は、下記のNotesDBからお申し込みください。
NDACC受付 Notes DB (サーバー名 : DOMINOSOL1/DOMSOLDOM, ファイルパス名 : NDACC¥NDACCreg.nsf, ホストネームdominosol1.hakozaki.ibm.com)
- BP様は、Notes/Domino Application Code CheckerをIPライセンシングにて提供しています。(有料)佐藤 (Emiko Sato/Japan/IBM)へお問い合わせください。

iSeries固有のアップグレード情報

■ iSeries固有情報

- ▶ 『メールサーバーフレームワーク/AnyMail 統合』はサポート外
 - DOMINO SMTPへの移行が必要
- ▶ ディレクトリ同期化機能の削除
 - ディレクトリ同期化機能の停止
- ▶ IBM HTTP SERVER (非Apacheベース)はサポート外
 - IBM HTTP SERVER (Apacheベース) or DOMINO HTTPサーバーへの移行が必要

Notes

- 『メールサーバーフレームワーク/AnyMail 統合』はサポート外
 - ▶ DOMINO SMTPへの移行が必要
 - R4.6Xの環境でMSFが構成されている場合は、事前にCHGDOMSVR SVR (サーバー名)SMTP (*NONE)を実行しておく必要があります。ライセンスプログラムの導入をおこなうことができません。
 - R5の環境の場合は、CHGDOMSVR SMTP (*DOMINO)を実行します。
- ディレクトリ同期化機能の削除
 - ▶ ディレクトリ同期化機能の停止
 - ディレクトリ同期化設定データベースから終了をおこないます。
 - iSeries LDAPサーバーへの移行が必要です。
- IBM HTTP SERVER (NON-Apache)はサポート外
 - ▶ Apacheをベースとしていない IBM HTTP SERVERに関しては、サポートされません。IBM HTTP SERVER (Apacheベース) へは、DOMINO HTTPサーバーへの移行が必要となります。

アップグレード計画と情報収集

■ 事前に下記の項目に関して、計画策定が必要

▶ 情報収集

- アップグレードに関する情報 (前述)
- 社内Notes環境の調査
 - サーバーの台数の確認
 - サーバースペックの確認
 - サーバーの利用目的の確認
 - サーバー内のDB数 総要領の把握
 - 各ドミノサーバーのリリース確認
 - 各サーバーのメールユーザー数、利用頻度の確認
 - 既存サーバーの継続利用が可能かどうかの判断
 - アドインソフトの確認

Notes

- 事前に情報収集をしておくべき項目は以下のようなものがあげられます。
 - ▶ アップグレードに関する情報収集
 - 前述の情報源から収集します。
 - ▶ 社内Notes環境の情報整理
 - サーバー台数の確認
 - サーバー文書の数と実サーバーの両方で確認します。削除されているサーバーがないか、ドミノディレクトリ間のレプリカは有効かどうかを確認します。
 - サーバーのスペックの確認
 - メモリは288MB以上 (Windowsの場合は192MB) OS/400 V5R1以降で最新の累積PTFが適用のもの。(Windowsはサービスパックにも注意 (NT:SP6a、2000:SP2以降))
 - サーバー利用目的の確認
 - メール・アプリ・MTAなどドミノの目的以外にも使用されていないか? Windowsの場合、NTドメインコントローラ等になっていないか? 用目的の確認
 - サーバー内のDBの数 総容量の把握
 - 各サーバーのノーツログの「データベース」サイズビューで概要把握
 - 各ドミノサーバーのリリースの確認
 - 起動時にノーツログに現れる表示やサーバー文書で確認
 - 各サーバーのメールユーザー数、利用頻度の確認
 - アドレス帳のメールユーザービューで確認。SH SERVERコマンドでピーク時の最大セッション数を確認
 - 既存サーバーの継続利用が可能かどうかの判断
 - バージョンアップ後のディスク容量増加に耐えられる余裕があるか? メモリは適切か?
 - アドインソフトの確認
 - FormwaveなどのNotes上で動くアプリケーション。Windowsの場合、ウィルスチェッカー、バックアップソフトのオプションなど

アップグレード計画と情報収集

■ 事前に下記の項目に関して、計画策定が必要

▶ 情報収集

– アップグレード方法の検討

- バージョンアップ対象の検討
- バージョンアップ方法の検討
- 統合の必要性の検討
- 漢字アドレス帳の使用状況の確認
- バージョンアップ後の漢字アドレス帳の方向性の検討
- アドレス帳のカスタマイズの有無とその内容の確認

Notes

- 事前に情報収集をしておくべき項目は以下のようなものがあげられます。
 - ▶ アップグレード方法の検討
 - バージョンアップ対象の検討
 - 特定のエリアのサーバーを対象 (パイロット) とする、例えば、メールサーバーのみを対象とする等を検討します。
 - バージョンアップ方法の検討
 - サーバーは、メールサーバー ハブサーバー スポークサーバーの順番でアップグレードすることを推奨されています。
 - どの順番でバージョンアップを実施するか、単純バージョンアップか、新サーバーに置き換えるかを検討します。
 - 統合の必要性の検討
 - 新規マシンを用意する場合は統合の検討もあわせて行います。
 - 漢字アドレス帳の使用状況の確認
 - どのような漢字ソリューションを用いているかを確認する。
 - DOMINO 6をサポートしているか各ベンダーに問い合わせを行います。
 - バージョンアップ後の漢字アドレス帳の方向性の検討
 - ユーザーの二重登録・二重管理とするか、DJXへ移行するかを検討する。
 - アドレス帳のカスタマイズの有無とその内容の確認
 - アドレス帳にカスタマイズを施している場合はバージョンアップ後にも同じ作業を実施する必要があります。

アップグレード計画と情報収集

■ 事前に下記の項目に関して、計画策定が必要

▶ 情報収集

- アプリケーションに関する調査と計画の立案
 - アプリケーションDBの管理者 設計者の把握
 - アプリケーションの重要度の確認
 - アプリケーションの修正方法の立案
 - アプリケーションの修正方法の検討
- クライアントのアップグレードに関する調査と計画の立案
 - クライアントのバージョンアップ時期の検討
 - クライアントのマシンスペックの調査
 - クライアントのOSの調査
 - クライアントの利用形態の把握
 - バージョンアップ対象クライアントの検討

Notes

- 事前に情報収集をしておくべき項目は以下のようなものがあげられます。
 - アプリケーションに関する調査と計画の立案
 - アプリケーションDBの管理者 設計者の把握
 - 問題発生時などを想定して、設計情報を理解していれば対応も容易となります。
 - アプリケーションの重要度の確認
 - 使用されていないIDBなどの整理と業務上影響の大きいIDBの分類などを確認します。
 - アプリケーションの修正方針の立案
 - すべての動作確認を行うのか、重要度の大きいもののみ確認し、その他は本稼動後に対応するのか等を決定します。
 - アプリケーションの修正方法の検討
 - システム部門ですべてを実施するのか、ユーザー側の開発者に任せるのか、ツールを用いるのかを検討します。
 - クライアントのアップグレードに関する調査と計画の立案
 - クライアントのバージョンアップ時期の検討
 - サーバーのバージョンアップとの兼ね合いで決定します。
 - クライアントのマシンスペックの調査
 - ディスク容量には300MBの空きが必要。導入時の作業領域にも注意。CPUはCeleron 500MHz MEMORY128MBを目安にします。
 - クライアントのOSの調査
 - Windows95はOSR2以降が必要です。
 - クライアントの利用形態の把握
 - ID切替を行ってマシンを共有しているような使用形態がないかを確認します。
 - バージョンアップ対象クライアントの検討
 - どの基準でバージョンアップ対象とするのか

アップグレード計画とテスト環境構築

- 事前にテスト環境を構築可能であれば、下記の項目をテスト
 - ▶ テスト環境での確認項目
 - テスト用 R6サーバーの環境を構築
 - アプリケーションテストの実施
 - メール配信テスト(社内・インターネット)
 - クライアントからのアクセス(旧クライアント R6 クライアント・Webブラウザ)
 - エージェント
 - LEIテスト

Notes

- 事前にテスト環境を構築して、下記の項目に関して、テストを実施することが望ましい。
 - ▶ テスト環境の構築
 - 現在の環境に追加サーバーとして構築するか、もしくは、別ネットワーク上に環境を復元したサーバーを構築
 - 作業内容の確認 所要時間の見積もり
 - ▶ アプリケーションテストの実施
 - R6からサポートされなくなった@関数・ノーツスクリプト・@COMMANDを使用していないかをチェック
 - ▶ メール配信テスト(社内・インターネット)
 - ノーツサーバー間のメッセージ配信(エージェントによる大量メール同時配信など)
 - インターネットメール(MIME) ノーツメール(リッチテキスト変換)
 - ▶ クライアントからのアクセス(旧クライアント R6 クライアント・Webブラウザ)
 - クライアントがR5(R4)とR6のバージョンが混在する場合、両バージョンでチェックを行う
 - Webブラウザ使用時は、ブラウザの種類・バージョン 暗号化強度に注意
 - ▶ エージェント
 - クライアント実行/サーバー実行
 - ▶ LEIテスト
 - DOMINO 6上では、LEI for DOMINO R6のみが稼働
 - R3など旧バージョン使用の場合は、R6へのアップグレードが必要

Domino 6へのアップグレード作業

- 以下の作業を順番に実施します。
 - ▶ 事前にNotesデータディレクトリなどバックアップを取得
 - ▶ バージョンアップに不要なオブジェクトを削除
 - ▶ DOMINO R6のプログラムを導入
 - ▶ ユーザープロファイルQNOTESのロケール確認・変更
 - ▶ 日本語言語パックを導入
 - ▶ ドミノディレクトリのR6化
 - ▶ ドミノディレクトリに対する「COMPACT」・「UPDALL」タスクの実行

Notes

- Lotus Domino6 アップグレードには以下の作業を実施する必要があります。
 - ▶ 事前にNotesデータディレクトリなどバックアップを取得します。
 - ライセンスプログラム、/QIBM/ProdData/Lotus/Notes、/QIBM/UserData/Lotus/Notes、ノーツデータディレクトリ
 - ▶ バージョンアップに不要なオブジェクトを削除
 - 以下のコマンドを実行します。
 - RMVLNK '/DOMINO/TEAMXX/domino/html/download/filesets/n_Japanese.exe'
 - RMVLNK '/DOMINO/TEAMXX/domino/html/download/filesets/n_Japanese.inf'
 - RMVLNK '/DOMINO/TEAMXX/domino/html/download/filesets/Japanese.dat'
 - RMVLNK '/DOMINO/TEAMXX/domino/html/download/filesets/Japanese.lic'
 - ▶ DOMINO R6のプログラムを導入
 - LODRUN,PCクライアントからの導入など
 - ▶ ユーザープロファイルのロケール確認
 - 以下のコマンドを実行します。
 - CHGUSRPRF USRPRF (QNOTES) LOCALE(QSYS.LIB/JA_5035.LOCALE) SETJOBATR(*CCSID *DATFMT *DATSEP *DECfmt *SRTSEQ *TIMSEQ)
 - ▶ 日本語言語パックを導入
 - LODRUN, PCクライアントからの導入
 - ▶ ドミノディレクトリのR6化
 - 最初のサーバー起動時にコンソール上に応答メッセージが表示します。「YES」で応答します。
 - 上記でうまくいかない場合は、DESIGNタスクをコンソールから実行するか、もしくはクライアントから設計の置換を実行します。
 - ▶ ドミノディレクトリに対するCOMPACT UPDALLタスクの実行
 - サーバーを停止後、SBMJOBコマンドにて実行
 - ドミノディレクトリに変更(ユーザービューなど)を加えている場合などは、この後に変更を反映します。

Domino 6へのアップグレード作業

- 以下の作業を順番に実施します。
 - ▶ ドミノディレクトリ以外のDBに「UPDALL -R」、「UPDALL -X」、「FIXUP」のタスクを実行
 - ▶ データベースのR6化（「COMPACT」タスクの実行）
 - ▶ アプリケーション修正
 - ▶ NotesクライアントのR6化
 - ▶ メールテンプレートのR6化

Notes

- Lotus Domino6 アップグレードには以下の作業を実施する必要があります。
 - ▶ ドミノディレクトリ以外のDBに「UPDALL -R」、「UPDALL -X」、「FIXUP」を実行
 - 「UPDALL -R（すべての使用ビューの再構築）」、「UPDALL -X（全文索引の再構築）」、「FIXUP（修復）」を実行します。
 - ▶ データベースのR6化（COMPACTタスクの実行）
 - データベースの形式をR6（ODS43）化します。COMPACTタスクの実行では、デザインの変更は行われません。
 - なお、一度、R6の形式にしてしまうと、R4以前の形式に戻すことはできません。
 - ▶ アプリケーション修正
 - R6のサーバーでは実行できない関数などを変更します。
 - ▶ NotesクライアントのR6化
 - NotesクライアントのR6へのアップグレードは後日、実施することが可能です。
 - ▶ メールテンプレートのR6化
 - NotesクライアントをR6へアップグレードした後、メールテンプレートをR6化します。

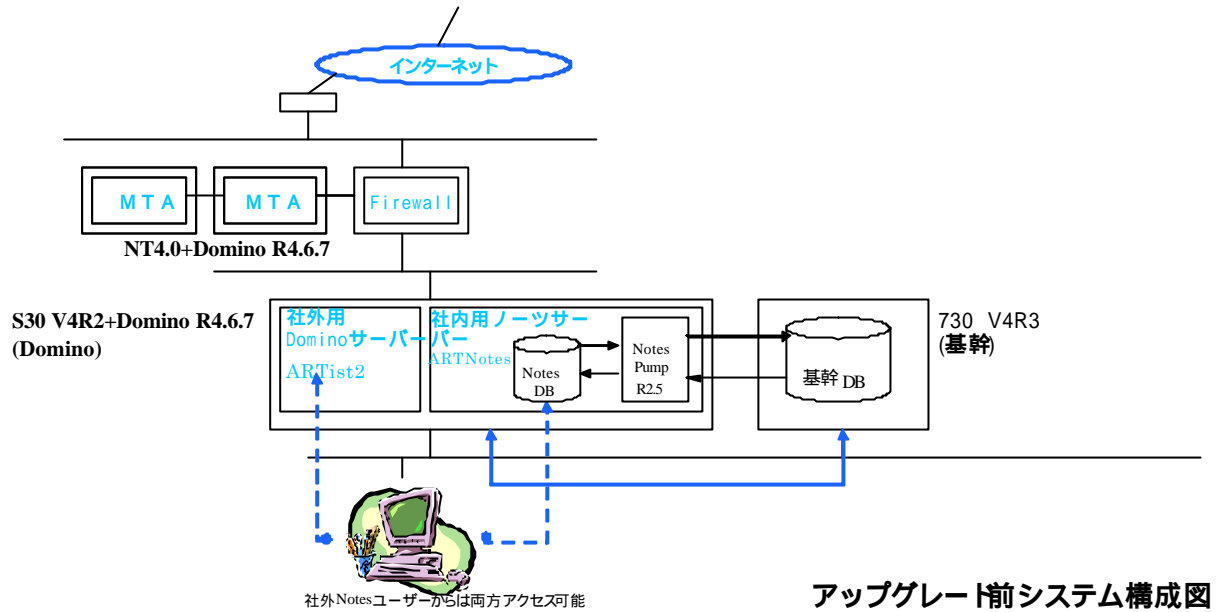
アップグレード事例 (アートコーポレーション様)

- ▶ OS/400をV4R2からV5R1へ、DominoをR4.67から6へバージョンアップ
- ▶ 社内はノーツクライアント利用、社外はWebブラウザ利用
- ▶ ユーザー数は社内600名程度、社外は取引先と個人ユーザー
- ▶ MTA用サーバー2台 (Windows NT、R4.67) もDomino6へアップグレード
- ▶ LEI (Notes Pump) も2.5から6へ移行
- ▶ Domino6への移行は2002年12月から2003年1月に実施 (年始切替)
- ▶ 一部アプリケーションに修正が必要であったが、順調に稼働

Notes

- OS/400をV4R2からV5R1へ、DominoをR4.67から6へバージョンアップ
 - ▶ OS/400 V4R2+DOMINO R4.67 OS/400 V4R5+DOMINO R4.67 OS/400 V4R5+DOMINO R5.06a OS/400 V4R5+DOMINO R5.06a OS/400 V5R1+DOMINO R6.0.0の順番で実行
- 社内用 (ノーツクライアント利用) 社外用 (ブラウザ利用)
 - ▶ 社内はNotes R4.67とR6が混在
 - ▶ ブラウザーはIEを使用
- ユーザー数は社内600名程度、社外は取引先と個人ユーザー
- MTA用サーバー2台 (Windows NT、R4.67) もDomino6へアップグレード
 - ▶ 年始の切り替えを前に先行して実施しました。
- LEI (Notes Pump) も2.5から6へ移行
 - ▶ LEI 6 for iSeries Beta Program利用
- Domino6への移行は2002年12月から2003年1月に実施 (年始切替)
 - ▶ Projectは11月後半kickoff。12月テスト環境にて、アプリケーションテストの実施およびMTA用サーバー移行を行いました。
 - ▶ 2003年1月1日にサービス・イン。
 - ▶ お客様事情 (12月31日・1月1日以外はずべて24時間稼働) があり、プロジェクト期間を大幅に短縮して、移行を実施しました。
 - ▶ 本来は要件定義・アプリケーションテストなど、十分な時間をとって、実施することが望ましいです。
- 一部アプリケーションに修正が必要であったが、順調に稼働

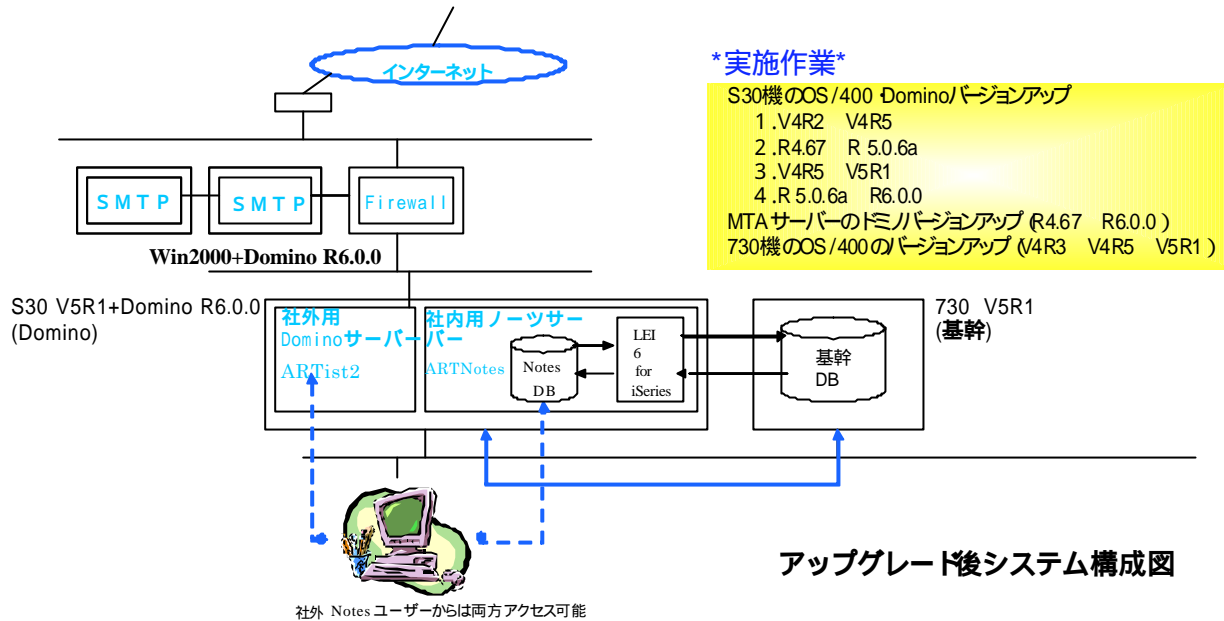
移行作業事例 (アートコーポレーション様)



Notes

- 移行作業では以下の作業を実施
 - ▶ S30機のOS/400のバージョンアップ (V4R2 V4R5 V5R1)
 - ▶ S30機のドミノバージョンアップ (R4.67 R 5.0.6a R6.0.0)
 - ▶ MTAサーバーのバージョンアップ (WinNT Win2000)
 - ▶ MTAサーバーのドミノバージョンアップ (R4.67 R6.0.0)
 - ▶ 730機のOS/400のバージョンアップ (V4R3 V4R5 V5R1)

移行作業事例 (アートコーポレーション様)



Notes

- 以下の作業を実施
 - S30機のOS/400 Dominoバージョンアップ
 - 1. V4R2 V4R5
 - 2. R4.67 R 5.0.6a
 - 3. V4R5 V5R1
 - 4. R5.0.6a R6.0.0
 - MTAサーバーのドミバージョンアップ (R4.67 R6.0.0)
 - 730機のOS/400のバージョンアップ (V4R3 V4R5 V5R1)



移行作業のスケジュール (計画・テストフェーズ)

	11月		12月			
	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	
事前準備						
移行スケジュール案作成	→					
テスト項目・実施体制決定	→					
システム環境ヒアリング・調査	→					
テスト機 (170) 準備						
テストマシンのセットアップ	→					
OS環境復元・DOMINO R4.67環境復元	→					
DOMINO R6へリリースアップ	→					
LEI for DOMINO R6の導入・セットアップ	→					
LEIの環境再定義	→					
FAX Directorテスト環境作成・テスト		→				
Notesアプリケーションテスト						
テスト項目・実施手順 詳細決定	→					
テストスケジュール決定		→				
Notesクライアント用DBアプリケーションテスト			→	→	→	
Webクライアント用DBアプリケーションテスト			→	→	→	
社内メール送受信テスト		→				
eメール送受信テスト			→	→	→	
LEI転送テスト			→	→	→	
SMTP-MTA先行バージョンアップ・切替						
SMTP-MTAサーバー環境構築					→	
S30機 (DOMINO機) バージョンアップ						
導入/障害 情報収集	→	→	→	→	→	

*お客様の全面協力のもと、極めて短期間でプロジェクトを計画



Notes

- 移行作業の計画 テストフェーズでは以下の作業を実施しました。
 - ▶ 事前準備
 - 移行スケジュール案作成
 - テスト項目 実施体制決定
 - システム環境ヒアリング 調査
 - ▶ テスト機 (170) のセットアップ
 - テストマシンのセットアップ・DOMINO R4.67環境の復元
 - DOMINO 6へのリリースアップ作業の実施
 - LEI for DOMINO 6の導入 セットアップ
 - LEIの環境再設定 (PUMP R2.5からのリリースアップのため)
 - FAX Director環境作成とテスト (S30基幹マシンのバージョンアップのためのテスト項目)
 - ▶ Notesのアプリケーションテスト
 - テスト項目 実施手順 詳細決定
 - テストスケジュール決定
 - Notesクライアント用DBアプリケーションテスト
 - Webクライアント用DBアプリケーションテスト
 - 社内メール送受信テスト
 - eメール送受信テスト
 - LEI転送テスト
 - ▶ SMTP-MTAサーバー 先行バージョンアップ・切替作業
 - MTAサーバーに関しては、事前に先行バージョンアップ作業 切替を実施
 - ▶ S30機 (DOMINO機) バージョンアップ準備
 - 導入/障害情報の収集
 - バージョンアップ当日の作業スケジュール作成



IBM eServer iSeries

移行作業のスケジュール (最終移行12/30 ~ 12/31)

日付	時刻	730		担当者	S30		担当者
		作業項目	所要時間 見積		作業項目	所要時間 見積	
	20:00	(業務稼働)			(業務稼働)		
		↓(21:00まで)			↓(21:00まで)		
12月30日	21:00	3590でフルバックアップ	8.0H				
	22:00	GO SAVE '21'					
	23:00						
12月31日	0:00			河津			河津
	1:00						
	2:00	↓(3:00完了)					
	3:00	V4R3->V4R5 RelUP開始	7.0H		3590でフルバックアップ	4.0H	
	4:00	マイクロ・OS			GO SAVE '21'		
	5:00	ライセンス			↓(7:00完了)		
	6:00	累積PTF					
	7:00				V4R2->V4R5 RelUP開始	7.0H	
	8:00				マイクロ・OS		
	9:00	↓(10:00完了)			ライセンス		
	10:00	V4R5->V5R1 RelUP	7.0H	村谷	累積PTF適用		村谷
	11:00	マイクロ・OS					
	12:00	ライセンス					
	13:00	累積PTF			↓(14:00完了)		
	14:00	グループPTF適用			V4R5->V5R1 RelUP	7.0H	
	15:00				マイクロ・OS		
	16:00	↓(17:00完了)			ライセンス		
	17:00	稼働確認(600-730間、アプリ)	2.0H		累積PTF		
	18:00	↓(19:00完了)			グループPTF適用		
	19:00	3590でフルバックアップ			DOMINO R5.06a RelUP		
	20:00	GO SAVE '21'			↓(21:00完了)		

*2台のOS/400の2段階バージョンアップ・DOMINOサーバーの2段階アップグレード

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.



IBM eServer iSeries

移行作業のスケジュール (最終移行12/31 ~ 1/1)

*2台のOS/400の2段階バージョンアップ・DOMINOサーバーの2段階アップグレード

	21:00			瀧澤	ドミノ R6.0.0 リリースアップ	1.0H	瀧澤
	22:00				LEI for R6 新規導入	1.0H	
	23:00				設定変更・稼働確認	5.0H	
1月1日	0:00				Notes アプリ		
	1:00	↓(2:00完了)			PUMP, e-Mail		
	2:00	稼働確認(S30-730間)	3.0H				
	3:00	PUMP, SNADS			↓(4:00完了)		
	4:00	↓(5:00完了)			3590でフルバックアップ	5.0H	
	5:00	オブジェクト変換	3.0H		GO SAVE '21'		
	6:00						
	7:00	↓(7:00完了)					
	8:00	ファイルの再編成(RGZPFM)	6.0H		↓(10:00完了)		
	9:00						
	10:00				DISK追加(85GB*4)	3.0H	
	11:00						
	12:00						
	13:00	↓(13:00完了)			↓(13:00完了)		

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

各局面での作業内容

- アプリケーションテスト環境の作成 (3日間)
 - ▶ テスト用AS/400を別ネットワーク環境に作成
 - テスト用ネットワーク環境を作成
 - 最初に既存のR4.67環境を復元
 - R6へのアップグレード手順を事前に確認
- アプリケーションテストの実施 (2週間)
 - ▶ クライアント・サーバーでのテスト
 - R6クライアント、R4.6クライアント、Webブラウザ
 - エージェント実行
 - アクションボタン
 - セキュリティ

Notes

- アプリケーションテスト環境の作成 (3日間)
 - ▶ テスト用AS/400を別ネットワーク環境に作成
 - テスト用ネットワーク環境を作成
 - クライアントはhostsファイルの変更で対応
 - 既存のノーツ環境をそのまま利用できるため、アプリケーションの稼働確認が容易なため。
 - 最初に既存のR4.67環境を復元
 - R6.0.0へのアップグレード方法を確認するために、R4.67の環境を作成。
 - R6へのアップグレード手順 所要時間を事前に確認
- アプリケーションテストの実施 (2週間)
 - ▶ クライアントからのテスト
 - R6クライアント、R4.6クライアント、Webブラウザ
 - R6サーバー上のアプリケーションをR6クライアントとR4.6クライアントからアクセスして確認。
 - データベース形式はR6 (ODS43)を使用。
 - エージェント実行
 - サーバー実行されるエージェント
 - クライアント実行されるエージェント
 - アクションボタン
 - セキュリティ
 - サーバーエージェント実行権限
 - ECL (操作制御リスト)
 - SSL

各局面での作業内容

- メールサーバーのテスト(1週間)
 - ▶ 新規PCサーバーを1台用意して、順次移行作業を実施
 - 事前にテスト用インターネットドメインを利用し、SMTP MTAの機能テスト
 - 新規でR6サーバーを構築
 - 環境を復元後、既存マシンとの切替を実施
- S30機のアップグレード(2日間)
 - ▶ OS/400のバージョンアップとDOMINOのリリースアップ
 - 以下の順序で実行
 - OS/400 (V4R5) DOMINO (R5.0.6a) OS/400 (V5R1) DOMINO (R6.0.0)
- クライアントのアップグレード(順次)
 - ▶ クライアントに関しては、順次R6化を実施

Notes

- メールサーバーのテスト(1週間)
 - ▶ 新規PCサーバーを1台用意して、順次移行作業を実施
 - 事前にテスト用インターネットドメインを利用して、R6 SMTP MTAの機能テスト
 - 新規でR6サーバーを構築
 - 環境を復元後、既存マシンとの切替を実施
 - 複数 ノードドメイン環境 (認証者IDは同じ)
 - R4.67マシンと同じ構成でDOMINOサーバーをR6にて構築後、マシンを切替。
 - 使用しなくなった旧サーバーを新マシンとして構築。環境を復元後、再度、マシン (2台目) を切替。
- S30機のアップグレード(2日間)
 - ▶ OS/400のバージョンアップとDOMINOのリリースアップ
 - 以下の順序で実行
 - OS/400 (V4R5) DOMINO (R5.0.6a) OS/400 (V5R1) DOMINO (R6.0.0)
 - アップグレード作業完了後、以下を実施
 - ドミノディレクトリのカスタマイズ部分反映
 - アプリケーションの修正
- クライアントのアップグレード(順次)
 - ▶ クライアントは順次R6へのアップグレードを実施

IBM eServer iSeries

IBM

付録

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries

IBM

付録1. Domino 6 iSeries版の導入プロセス

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

LODRUN コマンドによる導入 - 1

■ 5250 インターフェイスからの実施

- ▶ 基本的にR5の時と同じ実施方法
 - CD-ROMを装填
 - Domino 6 English Version
 - LODRUN DEV(*OPT) DIR('/OS400') を実施

■ License Agreementへの応答

- ▶ 実行キーで応答



New

International Program License Agreement

Part 1 - General Terms

PLEASE READ THIS AGREEMENT CAREFULLY BEFORE USING THE PROGRAM. IBM WILL LICENSE THE PROGRAM TO YOU ONLY IF YOU FIRST ACCEPT THE TERMS OF THIS AGREEMENT. BY USING THE PROGRAM YOU AGREE TO THESE TERMS. IF YOU DO NOT AGREE TO THE TERMS OF THIS AGREEMENT, PROMPTLY RETURN THE UNUSED PROGRAM TO THE PARTY (EITHER IBM OR ITS RESELLER) FROM WHOM YOU ACQUIRED IT TO RECEIVE A REFUND OF THE AMOUNT YOU PAID.

The Program is owned by International Business Machines Corporation or one of its subsidiaries (IBM) or an IBM supplier, and is copyrighted and licensed, not sold.

The term "Program" means the original program and all whole or partial copies of it. A Program consists of machine-readable instructions, its components, data, audio-visual content (such as images, text, recordings, or pictures), and related licensed materials.

This Agreement includes Part 1 - General Terms, Part 2 - Country-unique More...

F3=Exit F12=Cancel ENTER=Accept
すでに区域の最上部が表示されている

Notes

- ここからは、LODRUNコマンドを用いた導入方法を解説します。
- 実施前に、LODRUNコマンド実行ユーザーが、*SECADMと*ALLOBJ権限を持っていることを確認してください。
- Domino 6 iSeries版 English VersionのCD-ROMをSeriesのCD-ROMドライブに装填し、LODRUN DEV(*OPT) DIR('/OS400') を実行します。
- 最初にLicense Agreementに従うか否かが聞かれますので、実行キーで"Accept"を選択して先に進みます。



IBM eServer iSeries

LODRUN コマンドによる導入 - 2

- 導入するサーバーの種類を選択
 - ▶ 購入したライセンスの種類に沿って選択
- 導入オプションの選択
 - ▶ Domino 6では2つのみ可能
 - *BASE
 - Option1 (C API Release6)

New

```

Lotus Domino for iSeries
System: ORION2
Select the type of installation you want:

1. Domino Messaging Server
2. Domino Utility Server
3. Domino Enterprise Server

Selection
3

F3=Exit F12=Cancel
  
```

```

Install Lotus Domino for iSeries Licensed Program
(5733LD6)

Type options, press Enter.
1=Install

Product Installed
Option Option Status Description
1 *BASE *NO Domino 6
1 1 *NO C API Release 6

F3=Exit ENTER To Continue
  
```

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.



IBM eServer iSeries

Notes

- 次に導入するサーバーの種類を選択します。
 - ▶ Domino Messaging Server
 - ▶ Domino Utility Server
 - ▶ Domino Enterprise Server
- の3種類が提示されますが、ここでは 購入済みのライセンスの種類に従って選択を行います。
- 次に、導入するオプションの選択を実施します。Domino 6 iSeries版では2つのみ選択可能です>(*BASEは必須)
 - ▶ *BASE
 - Domino 6のサーバーベースコードとなります。Dominoサーバーを稼働させるのに必要なプログラム、データテンプレートを含みます。また、DominoのSMTPサーバー、HTTPサーバー、DECSなどのDominoの追加機能も含みます。これは必須のオプションです。
 - ▶ Option1 (C API Release6)
 - C API Release 6は、Domino 6で稼働するNotes C アプリケーションを作成するのに必要なヘッダーファイルとモジュールを含んでいます。最新のバージョンのC APIについては、以下のサイトを参照してください。
 - <http://www-1.ibm.com/servers/eserver/series/domino/devresources.htm>
- 選択内容はこれだけです。この後、Dominoプログラムが導入されます。

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

InstallShieldによる導入 - 1

■ 実施前の準備

- ▶ システム値QPWDLVLを0か1に
- ▶ 使用するPCのhostsファイルにインストール先のiSeriesを登録

■ 導入開始

- ▶ 導入CD-ROMにあるsetup.exeを実行
- ▶ InstallShieldが開始される



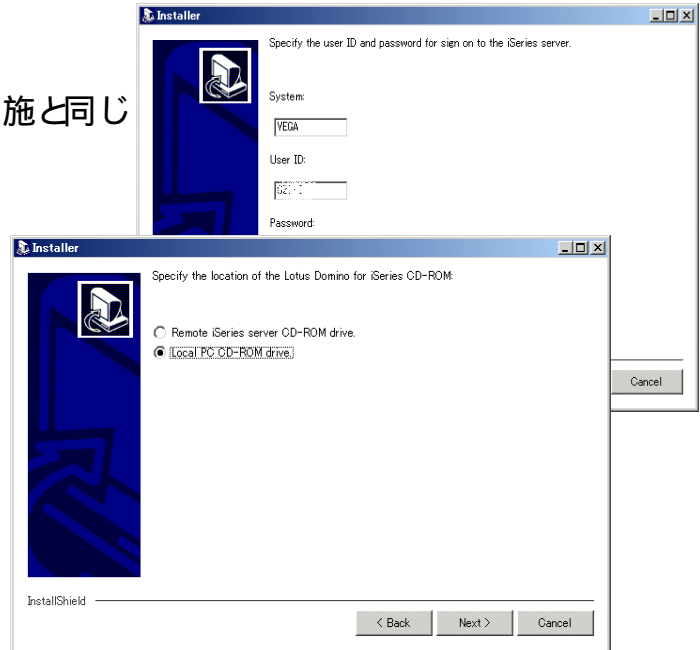
Notes

- ここからは、PC上でInstallShieldを実施してDominoのプログラムを導入する方法を解説します。
- 実施前の準備としては、以下のものがあります。
 - ▶ まず、システム値QPWDLVLを0か1にします。ここが2か3になっている場合、導入が失敗に終わることがあります。
 - ▶ また、使用するPCのhostsファイルにインストール先のiSeriesを登録しておきます。導入プロセスの中で、iSeriesのシステム名を入力するところがあるので、その名前が確実に判別できるようにします。
 - ▶ それから、LODRUN実行時と同様、iSeriesにアクセスする時のユーザープロファイルは、*SECADMと*ALLOBJ権限を持っていることを確認してください。
- インストール作業ですが、Domino 6 iSeries版 English VersionのCD-ROMに含まれる、setup.exeをPC上で実行することで開始されます。これでInstallShieldが開始されます。

InstallShieldによる導入 - 2

■ 導入の流れ

- ▶ 基本的にLODRUNコマンドの実施と同じ
- ▶ License Agreementへの応答
- ▶ iSeriesへのサインオン
- ▶ サーバーの種類の選択
- ▶ インストール元の選択
 - PCのCD-ROMドライブ
 - iSeriesのCD-ROMドライブ

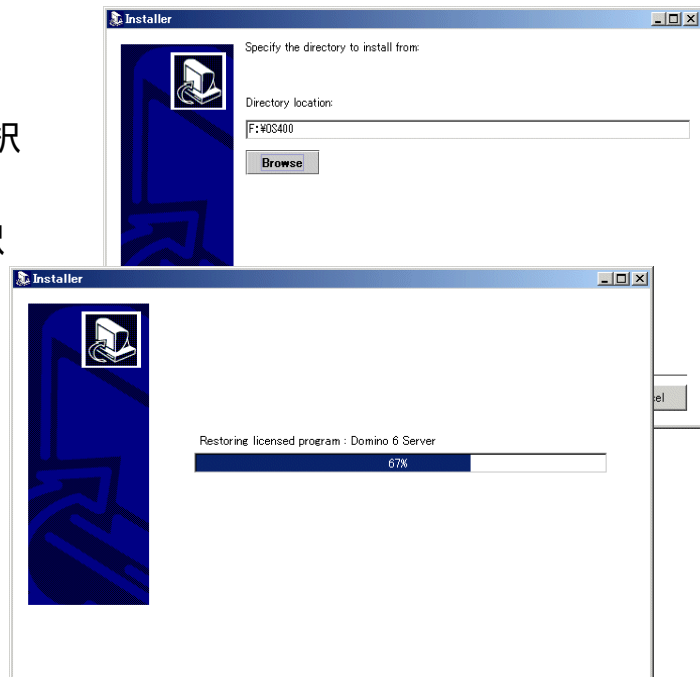


Notes

- このInstallShieldにおける導入プロセスですが、基本的に5250インターフェイスでLODRUNコマンドを実行する場合と同じです。
- プロセスは以下のようになります。
 - ▶ License Agreementへの応答
 - ▶ iSeriesへのサインオン
 - iSeriesのシステム名と、ユーザープロファイル、パスワードを入力します
 - ▶ サーバーの種類の選択
 - ▶ インストール元の選択
 - InstallShieldを実行中のPCのローカルのCD-ROMか、アクセス先のiSeriesのCD-ROMを選択可能です

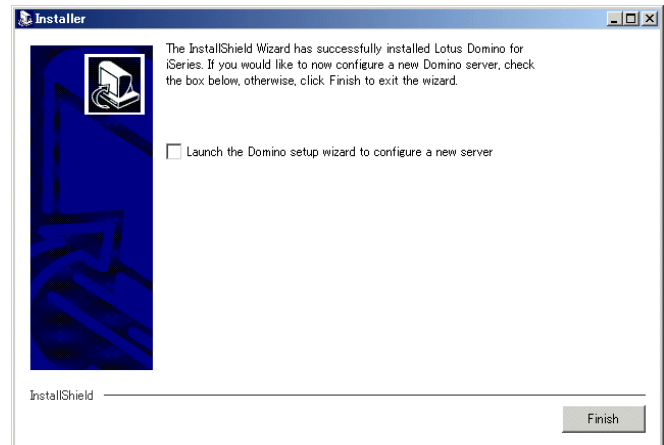
InstallShieldによる導入 - 3

- 導入の流れ - 続き
 - ▶ インストールディレクトリの選択
 - OS/400ディレクトリ
 - ▶ インストールオプションの選択
 - ▶ インストール開始



Notes

- InstallShieldでのプロセスの続きです。
 - ▶ インストールディレクトリの選択
 - これは、CD-ROM上のディレクトリを表します。OS/400ディレクトリを選択します
 - ▶ インストールオプションの選択
 - "Domino 6 Server" と "C API" になります
 - ▶ インストール開始
- これで、iSeries上にDominoのプログラムが導入されます。



導入後の確認

- Domino 6導入後の確認
 - ▶ DSPSFWRSCコマンド
 - 5733LD6のエントリを確認
 - 機能は5050と2924のみ
 - 2962はなし
 - Language Pack 未導入のため

ソフトウェア資源の表示

システム:

資源	オプション	機能	記述
D			
5722XW1	*BASE	2962	CLIENT ACCESS/400 WINDOWS FAMILY BASE
5722XW1	1	5101	CLIENT ACCESS/400 WINDOWS FAMILY BASE OPTION 1
5733A19	*BASE	5050	5733-A19 IBM TOOLBOX FOR AS/400 VERSION 4
5733LD6	*BASE	5050	Lotus Domino 6 for iSeries
5733LD6	*BASE	2924	Lotus Domino 6 for iSeries
5733LD6	1	5050	C API Release 6

Notes

- 5250インターフェイスから実施した場合でも、グラフィカルなインターフェイスから実施した場合でも、Dominoのプログラムが導入されたかを確認する方法は同じです。
- 5250インターフェイスから、DSPSFWRSCコマンドを実施します。"5733LD6"のエントリを確認します。*BASEの5050と2924のエントリ オプション で選択したのであれば、オプション1のエントリがあるはずです。
- 日本語を表す"2962"のエントリはこの時点でまだ 存在しません。後述するLanguage Packの適用が完了した時点で追加されることになります。

IBM eServer iSeries

IBM

付録2. Domino 6 iSeries版の構成プロセス

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries

IBM

このページは意図的にブランクにしています。

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

CFGDOMSVR コマンドによる構成 - 1

- 5250 インターフェイスからの実施
 - ▶ 基本的にR5の時と同じ実施方法
 - パラメーターもほぼ同じ
 - ▶ インターフェイスは英語のみ
 - 日本語翻訳は提供されない
- CFGDOMSVR コマンドを入力
 - ▶ F4キーでパラメーター
 - ▶ F10キーでパラメーター拡張

Configure Domino Server (CFGDOMSVR)

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

Server name SERVER

Option OPTION
 Data directory DTADIR

Organization ORG

続...

Notes

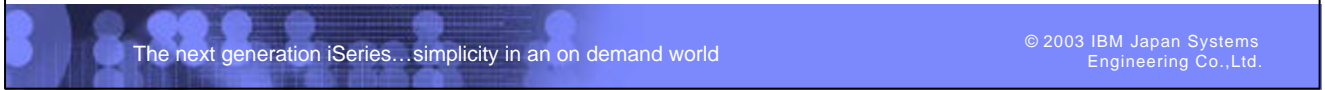
- CFGDOMSVR コマンドを使用してDominoサーバー構成を実施する場合、実施ユーザーには、*SECADM, *ALLOBJ, *JOBCTL, *IOSYSCFGの権限が必要となります。



CFGDOMSVR コマンドによる構成 - 2

■ 主なパラメーター

- ▶ SERVER
 - Dominoサーバー名
- ▶ OPTION
 - FIRST, ADD
 - ドメイン内の最初のサーバーか追加サーバーか
 - REMOVE
 - 既存のサーバーの削除
- ▶ DTADIR
 - Dominoサーバーの使用するデータディレクトリ
- ▶ ORG
 - Dominoサーバーの所属する組織

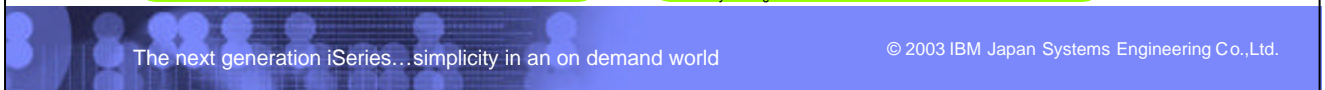


Notes

■ 参考: 全てのパラメーター

Configure Domino Server (CFGDOMSVR)	
Server name	SERVER
Option	OPTION
Data directory	DTADIR
Organization	ORG
Administrator: ADM	
Last name	
First name	
Middle initial	
Password	
Minimum password length ...	8
Internet password	*NONE
Time zone	TIMEZONE
Daylight savings time	DAYSAVTIME *YES
Get Domino Directory from: NABSVR	
Domino server name	
Optional network address ...	*NONE
Proxy server address	*NONE
Proxy server port	
Proxy server type	*HTTPPTUN
Local file	*NONE

Domino directory type	DIRTYPE	*CENTRAL
Additional server ID: ADDSVRID		
ID file		*NAB
ID file's password		
Web browsers	WEB	*NONE
Internet mail packages	MAIL	*NONE
Directory services	DIRSRV	*NONE
Connection services	CNNSRV	*DECS
Advanced services	ADVSRV	*PARTITION
Default ACL settings	DFTACL	*ADMGRP
Text 'description'	TEXT	*BLANK
追加のパラメーター		
SMTP services (obsolete) ...	SMTP	*DOMINO
News readers (obsolete) ...	NEWS	*NONE
Replace configuration	RPLCFG	*YES
Domain name	DOMAIN	*ORG
Network name	NETWORK	NETWORK1
Country or region code	CNTRYID	*BLANK





IBM eServer iSeries

Notes

■ 参考: 全てのパラメーター (続き)

Organizational unit: Name	OUNAME	* BLANK
ID file		* GEN
ID file's password.....		* ADM
Certifier ID: ID file	CERTID	* GEN
ID file's password.....		* ADM
Administrator ID: ID file	ADMID	* GEN
ID file's password.....		* ADM
Server ID: ID file	SVRID	*GEN
ID file's password		*NOPWD
Start server	STRDOMSVR	*NO
Start when TCP/IP started ...	AUTOSTART	*NO
Log replication events	LOGREPEVT	*YES
Log client session events ...	LOGSSNEVT	*YES

TCP/IP port options:	TCPOPT	
Encrypt network data		*NOENCRYPT
Internet address		*SYSTEM
Bind HTTP		*YES
Compress network Data		*NO
Server host name	SVRHSTNAME	*NONE
Subsystem and object names	SBS	*GEN
Collation	COLLATE	*STD
Copy Administrator ID file ...	CPYADMID	*ALL
Additional services	ADLSRV	*NONE
Allow Domino Off Line Services	DOLS	*NO
Service provider configuration	XSP	*NO

値の続きは+

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.



IBM eServer iSeries

Notes


- ここでは、CFGDOMSVRコマンドにおけるパラメーターを紹介します。
- SERVER
 - ▶ Dominoサーバーの名前を入力します。iSeriesのシステム名と同じである必要はありませんが、ネットワーク上での名前の解決の見地から、同じであることが推奨されます
- OPTION
 - ▶ *FIRST, *ADD, *REMOVEから選択します
 - ▶ 組織の最初のサーバーであれば*FIRST、組織の既存のサーバーに対する追加サーバーであれば*ADDを入力します
 - ▶ 既存のサーバーを削除する場合には、*REMOVEを入力します。この場合、SERVERには既存のDominoサーバーの名前を入力します
- DTADIR
 - ▶ このDominoサーバーが使用するデータディレクトリを指定します
- ORG
 - ▶ このDominoサーバーが属する組織名を入力します
- ADM
 - ▶ Dominoサーバーにおける最初のユーザーである、管理者の名前やパスワードに関する情報を入力します
- TIMEZONE
 - ▶ Dominoサーバーで使用するタイムゾーンを指定します。日本の場合にはZE9になります(グリニッジ標準時より9時間進んでいる)
- DAYSAVETIME
 - ▶ サマータイムを実施するかどうかを指定します。デフォルト値は*YESになっていますが、日本では該当しませんので、*NOを選択します

The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

CFGDOMSVR コマンドによる構成 - 3

■ 主なパラメーター(続き)

- ▶ ADM
 - Dominoサーバー管理者の情報
 - 名前、パスワードなど
- ▶ NABSVR 
 - 追加サーバーの構成時に、接続先を指定
 - IPアドレス情報などが追加された
- ▶ TIMEZONE
 - 日本ではZE9を指定
- ▶ DAYSAVETIME
 - サマータイムの有無
 - デフォルトでYESになっている

Notes

- NABSVR
 - ▶ OPTIONで、*ADDを選択した場合に有効となります
 - ▶ 組織内の既存のDominoサーバーの情報を入力します。これまでサーバー名のみしか入力できませんでしたが、Domino 6からはIPアドレスの情報なども入力できるようになりました
- DIRTYTYPE
 - ▶ *CENTRAL(デフォルト値)を指定した場合には、全てのユーザー、グループ文書がこのドミノディレクトリに作成されます
 - ▶ *CONFIGを指定した場合には、ユーザー、グループ文書は作成されません
 - ▶ 組織の最初のサーバーであれば、*CENTRALを指定します
- ADDSVRID
 - ▶ OPTIONで*ADDを選択した場合のみ有効です
 - ▶ サーバーIDのありかを指定します。このiSeries上にあれば、そのIFSパス、組織の既存のサーバーのドミノディレクトリがあれば、*NABを指定します
- WEB
 - ▶ Web関連の機能の構成を選択します
 - ▶ *HTTPは、HTTPサーバー機能を追加します
 - ▶ *IIOPは、IIOP機能を追加します
- MAIL
 - ▶ メール関連機能の構成を選択します
 - ▶ *SMTP, *POP3, *IMAP, *ALL, *NONE(デフォルト値)の選択肢があります
- DIRSRV
 - ▶ LDAPの構成を選択します
- CNNSRV
 - ▶ DECS機能の構成の選択をします
 - ▶ *DECS(規定値)を選択することで構成されます。*NONEでDECS機能は構成されません

CFGDOMSVR コマンドによる構成 - 4

■ 主なパラメーター(続き)

▶ WEB

– HTTP関連タスク導入の選択

- HTTP, IIOIP

▶ MAIL

– メール関連タスク導入の選択

- SMTP, IMAP, POP

▶ CNNSRV

– DECS機能の導入選択

▶ ADVSRV

– パーティションサーバー機能、クラスタリング機能などの選択

- 複数サーバー導入時には、全てのサーバーにパーティションサーバー機能の選択が必要

Notes

- ADVSRV
 - ▶ アドバンスドサーバー機能の選択を行います
 - ▶ *PARTITION(パーティションサーバー機能, デフォルト値), *BILLING(ビルディング機能), *CLUSTER(クラスタリング機能), *ALL, *NONEの選択肢があります
 - ▶ iSeries上に複数のサーバーを導入するのであれば、全てのサーバーで*PARTITIONが構成されている必要があります
- DFTACL
 - ▶ サーバー上の全てのDBのACLに追加されるエントリを選択します
 - ▶ *ADMGRP(デフォルト値)を選択すると、"LocalDomainAdmins" というグループが管理者で追加されます
 - ▶ *ANONYMOUSを選択すると、"Anonymous" のアクセスを許可します
- TEXT
 - ▶ このDominoサーバーの記述のテキストを入力します
- SMTP, NEWS
 - ▶ このパラメーターは無視されます
- RPLCFG
 - ▶ DTADIRで入力したデータディレクトリが既存のものである場合、それを書き換えるか書き換えないかを指定します。
 - ▶ *YES(デフォルト値)か*NOを指定します
- DOMAIN
 - ▶ Dominoサーバーのドメイン名を指定します。*ORG(デフォルト値)を指定すると、組織名と同一になります
- NETWORK
 - ▶ Notesネットワーク名を入力します
- CNTRYID
 - ▶ 国別コードを指定する場合に入力します
- OUNAME
 - ▶ 組織単位名を使用する場合に入力します

CFGDOMSVR コマンドによる構成 - 5

■ 主なパラメーター(続き)

- ▶ DFTACL ★ New
 - サーバー上の全てのDBのACLに追加される
 - *ADMGRP
 - "LocalDomainAdmins" というグループが管理者で追加される
 - *ANONYMOUS
 - "Anonymous" のアクセスを許可
- ▶ AUTOSTART
 - OS/400のTCTIP開始時にDominoサーバーを開始するかの設定
- ▶ TCPOPT
 - Dominoサーバーの使用するIPアドレスなどの指定
 - 指定しないとOS/400の全てのアドレスを使用

Notes

- CERTID
 - ▶ 認証者IDの場所を指定します。*GEN(デフォルト値)で新規作成されます
 - ▶ パスワードは指定しなければ、ADMで指定したものと同一になります
- ADMID
 - ▶ 管理者IDの場所を指定します。*GEN(デフォルト値)で新規作成されます
 - ▶ パスワードは指定しなければ、ADMで指定したものと同一になります
- SVRID
 - ▶ サーバーIDの場所を指定します。*GEN(デフォルト値)で新規作成されます
 - ▶ パスワードは指定しなければ、なしになります
- STRDOMSVR
 - ▶ Dominoサーバーの構成後、すぐに起動するかを指定します
- AUTOSTART
 - ▶ OS/400のTCTIP開始時にDominoサーバーを開始するかの設定をします
- LOGREPEVT
 - ▶ Notesログファイル(log.nsf)に、レプリケーションイベントを出力するかを指定します
 - ▶ デフォルトは*YESとなります
- LOGSSNEVT
 - ▶ Notesログファイル(log.nsf)に、クライアントセッションイベントを出力するかを指定します
 - ▶ デフォルトは*YESとなります
- TCPOPT
 - ▶ Dominoサーバーが使用するIPアドレスを指定します
 - ▶ *SYSTEM(デフォルト値)を指定すると、OS/400の持つすべてのIPアドレスが使用されます。この場合、同一iSeries上の他のDominoサーバーを起動することができません
- SVRHSTNAME
 - ▶ Dominoサーバーのホスト名を指定します



Notes

- SBS
 - ▶ Dominoサーバーのジョブが稼動するサブシステム名を指定します
 - ▶ *GEN(デフォルト値)が指定されると、DOMINOxx というサブシステム名になります
- COLLATE
 - ▶ Dominoサーバーにおける文字のソート方法を指定します
- CPYADMID
 - ▶ 管理者IDファイルをどこにコピーするかを指定します
 - ▶ *DOMDIRでドミノディレクトリ上のユーザー文書に貼り付けします
 - ▶ *DTADIRでデータディレクトリ上のコピーします
 - ▶ *ALL(デフォルト値)で両方のコピーします
- ADLSRV
 - ▶ Dominoサーバーに追加のサービス(BRMS増分バックアップなど)を構成する場合に指定します
 - ▶ デフォルト値は*NONEです
- DOLS
 - ▶ Dominoオフラインサービス(DOLS)を構成するかどうかを指定します
 - ▶ デフォルト値は*NONEです
- XSP
 - ▶ サービスプロバイダー構成を可能にするかを指定します
 - ▶ デフォルト値は*NOです
-
- 各パラメーターの詳細については、マニュアルやヘルプをご参照ください。



このページは意図的にブランクにしています。

IBM eServer iSeries
IBM

セットアップウィザードによる構成 - 1

- 準備
 - ▶ 使用するPCのhostsファイルにインストール先のiSeriesを登録
- 構成開始
 - ▶ 導入CD-ROM上にあるdomwzd.exeを実行
 - ▶ InstallShieldが開始される
- iSeriesへの接続
 - ▶ ユーザープロファイルとパスワードを入力
- 構成するサーバーの種類を選択
 - ▶ 最初のサーバー
 - ▶ 追加サーバー

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world
© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries
IBM

Notes

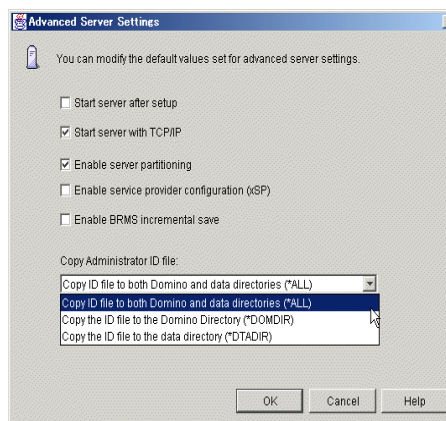
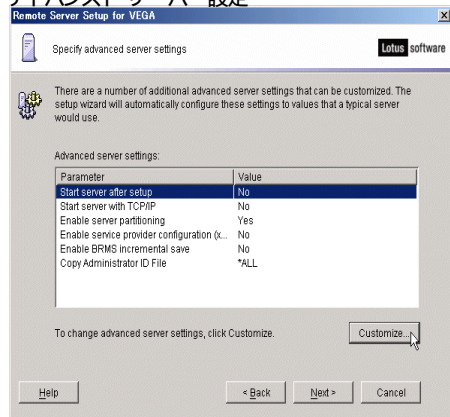
- ここでは、Dominoサーバーセットアップウィザードを使用してDominoサーバーを構成する方法を解説します。
- まず、実施前には、使用するPCのhostsファイルにインストール先のiSeriesを登録しておきます。これは、InstallShieldを使用してDominoプログラムを導入する場合と同じ理由となります。
- また、構成を実施するユーザーは、OS/400上で*SECADM、*ALLOBJ、*JOBCTL、*IOSYSCFGの権限が必要となります。
- 構成を開始するには、iSeriesに接続可能なPC上で、Domino 6 iSeries版 English VersionのCD-ROMに含まれる、domwzd.exeを実行します。
- iSeriesにアクセスするためのユーザープロファイルとパスワードを入力するウィンドウが現れるので、入力をしてサインオンします。
- さらに、構成するサーバーの種類を選択します。(組織の最初のサーバーか、追加サーバーか)

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world
© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

セットアップウィザードによる構成 - 2

- 各種パラメータの入力
 - ▶ CFGDOMSVRコマンドと同様
 - グラフィカル・インターフェイスで設定

アドバンスド・サーバー設定



Notes

- ここから先の設定内容は、基本的にCFGDOMSVRコマンドで実施するものと同じです。インターフェイスは違いますが、構成するのは同じものとなっています。
- 参考として、構成プロセスにおける設定順序を記します。
 - ▶ サーバーの種類
 - 組織における最初のサーバーか、追加のサーバーか
 - ▶ サーバー名とそのテキスト記述の指定
 - 既存のサーバーIDファイルを使用して構成を実施するのであれば、ここで指定します
 - ▶ データディレクトリの指定
 - ▶ アドバンスド・サーバー設定の指定
 - CFGDOMSVRコマンドのパラメータとして、STRDOMSVR, AUTOSTART, ADVSRV, XSP, ADLSRV, CPYADMIDがここでの設定内容にあたります
 - ▶ 組織名と認証者IDのパスワードの指定
 - 既存の認証者IDファイルを使用するのであれば、ここで指定します
 - ▶ 組織単位の設定
 - ▶ ドメイン名の指定
 - ▶ 管理者名と管理者IDのパスワードの指定
 - 既存の管理者IDファイルを使用するのであれば、ここで指定します
 - ▶ インターネットサービスの指定
 - CFGDOMSVRコマンドのパラメータとして、WEB, MAIL, DIRSRVにあたります
 - ▶ アドバンスド・Dominoサービスの指定
 - CFGDOMSVRコマンドのパラメータとして、ADVSRVにあたります
 - ▶ 使用するIPアドレスとTCP/IPホスト名の指定
 - ▶ タイムゾーンの選択
 - ▶ ドミノサーバーセキュリティの設定
 - CFGDOMSVRコマンドのパラメータとして、DFTACLにあたります
 - ▶ 作成されるIDファイルのコピー先の指定

IBM
IBM eServer iSeries

Notes

- セットアップウィザードでの画面のサンプルです。

使用するIPアドレスとCPIPホスト名の指定

組織名と認証者IDのパスワードの指定

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.
The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

IBM
IBM eServer iSeries

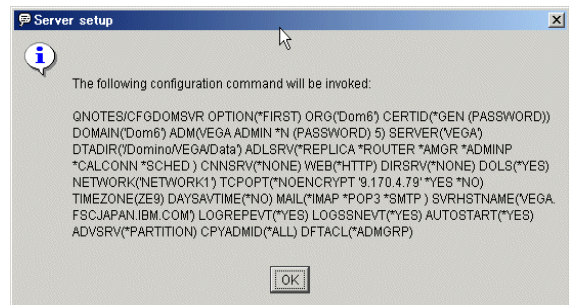
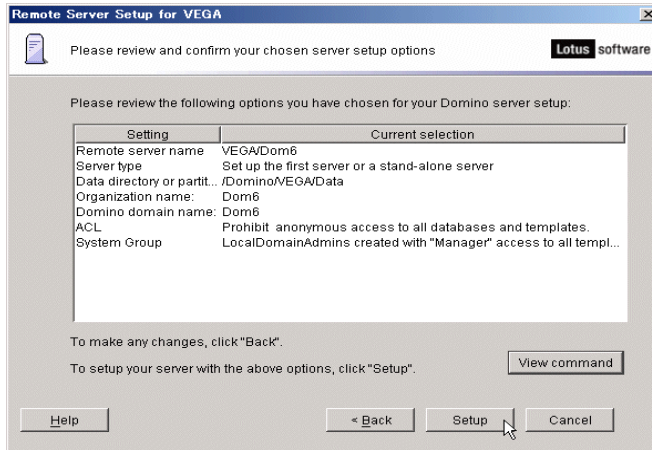
このページは意図的にブランクにしています。

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.
The next generation iSeries...simplicity in an on demand world

セットアップウィザードによる構成 - 3

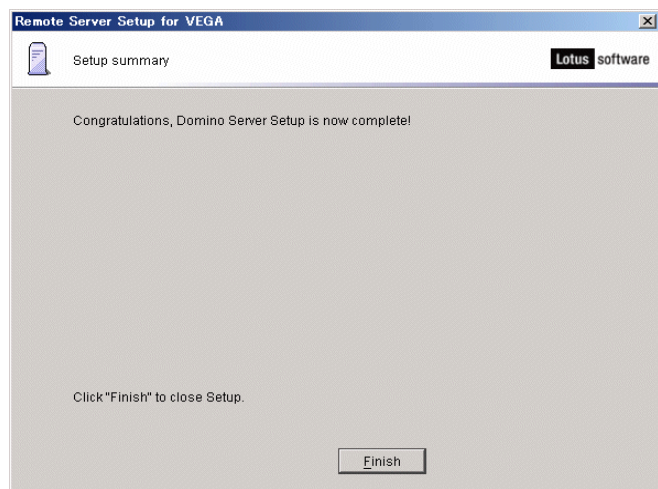
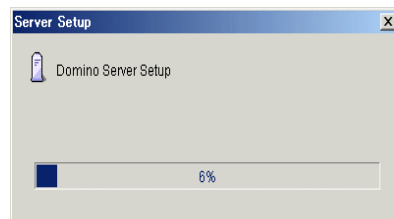
■ 構成実施前の確認

- ▶ 全ての設定実施後に表示される



Notes

- 全ての設定が終了後、それまでの設定の確認画面が表示され、それでOKであれば、構成を開始させます。



IBM eServer iSeries | IBM

付録3. iSeries関連情報リンク

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world | © 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

IBM eServer iSeries | IBM

このページは意図的にブランクにしています。

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world | © 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

Domino 6 iSeries版関連の情報リンク

- IBM Domino on iSeries Site
 - ▶ Domino iSeries版の各種情報
 - ▶ <http://www-1.ibm.com/servers/eserver/series/domino/>
- IBM @server iSeries and AS/400 Technical Support
 - ▶ Domino iSeries版を含む各種のiSeries技術情報
 - ▶ <http://www-912.ibm.com/>
- Redbooks
 - ▶ 各種Redbookを参照・ダウンロード可能
 - ▶ <http://www.redbooks.ibm.com/>
 - ▶ Redpiece "IBM Lotus Domino 6 for iSeries Implementation" (SG246592)
 - <http://www.redbooks.ibm.com/redpieces/pdfs/sg246592.pdf>

Domino 6 iSeries版関連の情報リンク

- Lotus Homepage
 - ▶ Lotusの各種製品情報
 - ▶ www.lotus.com
 - ▶ <http://www-6.ibm.com/jp/software/lotus>
 - 日本語
- Lotus Developer Domain
 - ▶ Lotusの各種技術情報
 - ▶ マニュアル等のドキュメントもダウンロード可
 - ▶ www.lotus.com/idd
 - ▶ <http://www-6.ibm.com/jp/domino07/lotus/home.nsf/Content/idd>
 - 日本語